CDE6520/CDE7520
プレゼンテーション
業務用サイネージディスプレイ
ユーザーガイド

IMPORTANT: Please read this User Guide to obtain important information on installing and using your product in a safe manner, as well as registering your product for future service. Warranty information contained in this User Guide will describe your limited coverage from ViewSonic Corporation, which is also found on our web site at http://www.viewsonic.com in English, or in specific languages using the Regional selection box in the upper right corner of our website. “Antes de operar su equipo lea cu idadosamente las instrucciones en este manual”

製品番号 : VS17908/VS17909

ViewSonic® をお選びいただき、
ありがとうございます。

ViewSonic®

コンプライアンス情報

本セクションでは、関連するすべての要件と規制に関する声明を扱います。 確認された対応用途は、本体上の銘板ラベルおよび関連マーキングを参照してください。

FCC コンプライアンス声明

本装置は、FCC 規則パート15 に準拠しています。 操作は次の2 つの条件に従うものとします： (1) 本装置は有害な干渉を引き起こさない場合があります。(2) 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含め、受信した干渉を受け入れなければなりません。 本装置は、FCC 規則パート15 に従って試験され、クラスB デジタル装置の制限に準拠していることが判明しています。

この機器はテスト済みであり、FCC規則のパート15に準拠したクラスBデジタルデバイスの制限に準拠していることが確認されています。これらの制限は、住宅における設置で有害な干渉から適切な保護を提供するように設計されています。本装置は、無線周波エネルギーを生成、使用しており、放射する可能性があり、指示に従って設置および使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。 ただし、特定の設置環境で干渉が発生しないという保証はありません。 本装置がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こした場合（装置の電源を入れ直して判断できます）、次のいずれかの方法で干渉を是正するようにしてください。

- 受信アンテナの向きまたは位置を変えてください。
- 本装置と受信機の間隔を広げてください。
- 受信機が接続されているコンセントとは別のコンセントに本装置を接続してください。
- 販売店または経験豊富なラジオ/ テレビ技術者に相談してください。

警告：コンプライアンス担当者が明示的に承認していない変更または修正を行うと、本装置の操作権限が失われる可能性があることに注意してください。

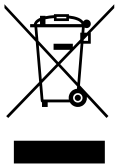
カナダ産業省の声明

CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)

欧州諸国の CE 適合

本装置は、EMC 指令2014/30/EU および低電圧指令2014/35/EU に準拠しています。

次の情報は、EU 加盟国のみに適用されます：



右側のマークは、廃電気電子機器指令2012/19/EU（WEEE）に準拠しています。 このマークは、本装置を未分類の地方自治体の廃棄物として処分せず、現地の法律に従って回収および回収システムを使用する必要があることを示しています。

RoHS2コンプライアンス宣言

本製品は、欧州議会および理事会指令2011/65/EU（電気・電子機器における特定の有害物質の使用制限に関する指令（RoHS2指令））に準拠して設計・製造されており、欧州技術適合委員会 (TAC) が発行する以下の最大濃度値に適合しているとみなされます。

物質	提案された最大濃度	実際の濃度
鉛 (Pb)	0.1%	< 0.1%
水銀 (Hg)	0.1%	< 0.1%
カドミウム (Cd)	0.01%	< 0.01%
六価クロム ($Cr6^{+}$)	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ビフェニル (PBB)	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ビス（2- エチルヘキシル）(DEHP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ブチルベンジル (BBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジブチル (DBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジイソブチル (DIBP)	0.1%	< 0.1%

上記のような製品の特定のコンポーネントは、下記のRoHS2指令の附属書IIIの下で免除されています。

1. 最大重量の 0.4 %までの鉛を含むアルミニウムの合金元素としての鉛。
2. 最大重量の 4 %まで鉛を含有する銅合金。
3. 高融点温度はんだ中の鉛（すなわち、鉛を重量85%以上含む鉛ベースの合金）。
4. コンデンサに誘電体セラミック以外のガラスまたはセラミックの鉛を含む電気および電子部品（例えば、圧電素子、またはガラスまたはセラミックマトリックス化合物中）。

ENERGY STAR® に関する声明

ENERGYSTAR®は、米国環境保護庁の自主的なプログラムです、企業や個人が優れたエネルギー効率を通じて、お金を節約し、気候を保護できるようにすることを目指しています。温室効果ガスの排出を防ぐために、米国環境保護庁によって設定された厳格なエネルギー効率基準または要件を満たすことにより、製品にENERGYSTAR®が与えられます。

ViewSonicは、ENERGYSTAR®パートナーとして、ENERGYSTAR®ガイドラインを満たし、すべての認定モデルにENERGYSTAR®ロゴを付けることを決定しています。

次のロゴは、すべてのENERGYSTAR®認定モデルに表示されます。

注意事項：電源管理機能により、製品を使用していないときのエネルギー消費量が大幅に削減されます。電源管理により、デバイスは、定義された非アクティブ期間の後に、自動的に低電力の「スリープモード」に移行します。また、電源管理機能により、ホストコンピュータから切断されてから5分後にスリープモードまたはオフモードになります。エネルギー設定を変更すると、エネルギー消費量が増えることに注意してください。

安全上のご注意

最適なパフォーマンスを得るために、本製品を設置する際に以下の点にご注意ください。

- 本製品の裏側カバーは取り外さないでください。内部にはユーザーが修理できる部品はなく、カバーを開いたり取り外したりすると、危険な衝撃やその他のリスクにさらされる可能性があります。
- すべての修理依頼には ViewSonic カスタマサポートセンターにお問い合わせてください。
- 本製品に液体をこぼしたり、水に近い場所で本製品を使用したりしないでください。
- 本製品のスロットにいかなる種類の物体を挿入しないでください。
  危険な電圧に触れる可能性があり、有害または致命的であるか、感電、火災、または機器の故障を引き起こす可能性があります。
- ディスプレイや接続ケーブルの上には重いものを置かないでください。
- 本製品を傾斜や凹凸のある場所、不安定な場所に置かないでください。本体が転倒、落下してけがや故障の原因となります。
- 本製品の上に物を置いたり、屋外で使用したりしないでください。
- 電源コードを曲げないでください。
- 高温多湿、ほこりや油の多い場所で本製品を使用しないでください。
- 本製品や保護ガラスが割れた場合は、液晶に触れないように注意して取り扱ってください。
- 熱が適切に放散されるように、本製品を風通しの良い場所に置いてください。換気口を塞いだり、本製品をエアコンやストーブ、その他発熱する機器などの近くには設置しないでください。
- 電源コードをコンセントから外すのは、システムを電源装置から切り離すための主要な手段です。
  本製品を簡単にアクセスできる電源コンセントの近くに設置してください。
- 輸送の際は注意して取り扱ってください。輸送のために梱包材を保管してください。
- 少なくとも年に一度筐体の穴を掃除して、汚れやほこりを排除してください。
- 冷却ファンを使用する場合は、少なくとも月に1回は穴を掃除することをお勧めします。
- リモコンの電池を取り付ける場合は：
  - 電池ケース内の (+) と (-) の表示に従って電池を入れてください。
  - 電池の (-) 表示を最初にケース内に合わせてください。
- 本製品は、24 時間連続使用を前提として設計されておりません。部品の消耗を加速させる原因や帯電による不具合の原因となりますので、24 時間連続でのご利用は避けてください。
- 連続使用は 1 日最大約 16 時間が推奨となります。
- 長期間使用しない場合には、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 製品の修理は、認定されたサービス担当者にご依頼ください。以下のような破損の場合は、修理が必要となります。
  >> 電源コードまたはプラグが破損している。
  >> 本体に液体がかかったり、何か物を落としてしまった。
  >> 雨や湿気にさらしてしまった。
  >> 本体が正常に操作できない。または落としてしまった。

ご注意：

製品の修理は、認定されたサービス担当者にご依頼ください。以下のような破損の場合は、修理が必要となります。

- 電源コードまたはプラグが破損している場合。
- 本体に液体がかかったり、何か物を落としてしまった場合。
- 雨や湿気にさらしてしまった場合。
- 本体が落としてしまった場合。
- 本体が正常に操作できない場合。

推奨の使い方

ご注意：

- 最適なパフォーマンスを得るには、約20分ウォームアップにしてください。
- 少なくとも 5 フィート離れた物体に焦点を合わせて、定期的に目を休ませてください。
- グレアと反射を最小限に抑えるために、本製品を窓やその他の光源に対して90°の角度で配置してください。
- 本製品の表面を柔らかい不織布で拭いてください。洗浄液やガラスクリーナーの使用は避けてください。
- 画面の明るさ、コントラスト、シャープネスを調整して、読みやすさを向上させます。
- 液晶の焼付きを回避するために、本製品に固定画像を長時間表示することは避けてください。

人間工学

人間工学に基づいた最大限のメリットを実現するために、次のことをお勧めします。

- 標準信号でプリセットのサイズと位置でを使用します。
- プリセットのカラー設定を使用します。
- インターレースされていない信号を使用します。
- 暗い背景に原色の青を使用しないでください。

目次

1. 開梱と設置 1
1.1. 開梱 1
1.2. 付属品 1
1.3. 設置に関する注意事項 1
1.4. 壁取り付け仕様 2
1.4.1. VESA 仕様 2

2. 各部の名称と機能 4
2.1. コントロールボタン 4
2.2. 入出力ポート 5
2.3. リモコン 6
2.3.1. 機能概要 6
2.3.2. リモコンの電池の交換 7
2.3.3. リモコンの取り扱い 7
2.3.4. リモコンレシーバーの範囲 7

3. 外部機器の接続 8
3.1. 外部機器の接続 (DVD/VCR/VCD) 8
3.1.1. DispalyPort ビデオ入力を使用する場合 8
3.1.2. HDMI ビデオ入力を使用する場合 8
3.2. PC との接続 8
3.2.1. DispalyPort 入力を使用する場合 8
3.2.2. HDMI 入力を使用する場合 9
3.2.3. VGA (D-Sub) 入力を使用する場合 9
3.3. 外部音声機器の接続 9
3.3.1. 外部音声出力機器に接続 9

4. 操作 10
4.1. 起動と初期設定 10
4.1.1. Welcome 10
4.1.2. イーサネット 10
4.1.3. 日付と時刻設定 10
4.1.4. システムモード 10
4.2. 接続されているビデオソース一覧 10

5. ランチャー画面 11
5.1. 設定 11
5.2. イーサネット 11
5.2.1. DHCP 11
5.2.2. 静的 IP 11
5.3. WiFi 11
5.3.1. Wi-Fi ホットスポット 12
5.3.2. ミラキャスト 12
5.4. デバイス 12
5.4.1. 一般設定 13
5.4.2. ソース設定 13
5.4.3. セキュリティ 14
5.4.4. ストレージの消去 14
5.4.5. リセット 14
5.4.6. インポート & エクスポート 14
5.4.7. 複製 15
5.4.8. フォントサイズ 15
5.4.9. バックライト 15
5.4.10. 壁紙 16
5.5. システム 16
5.5.1. 日時 16
5.5.2. 情報 16

6. OSD メニュー 17
6.1. 設定 18
6.1.1. 画像設定 18
6.1.2. 画面設定 18
6.1.3. 音声設定 19
6.1.4. 時刻設定 19
6.1.5. 詳細設定 20
6.1.6. 情報 21

7. 内蔵アプリと設定 22
7.1. USB メディアの再生 22
7.2. vCastReceiver & vCastSender アプリケーションサービス 23
7.3. Airplay サービス 25
7.4. Chromecast サービス 26
7.5. Sweeper 27
7.6. フォルダ 28
7.7. WPS Office 29

8. サポートメディアフォーマット 30

9. 入力モード 32

10. クリーニングとトラブルシューティング 35
10.1. クリーニング 35
10.2. トラブルシューティング 36

11. 仕様 37
11.1. CDE6520 37
11.2. CDE7520 39

12. RS232 プロトコル 41
12.1. RS-232 について 41
12.2. 詳細 41
12.2.1. RS232 ハードウェア仕様 41
12.2.2. 通信設定 41
12.2.3. コマンドメッセージリファレンス 42
12.3. プロトコル 42
12.3.1. Set - 関数リスト 42
12.3.2. Get - 関数リスト 46
12.3.3. リモコンパススルーモード 50

13. カスタマーサポート 52

著作権情報

Copyright© ViewSonic Corporation, 2020.All right reserved. 版権所有。
Macintosh 及び Power Macintosh はアップル社Apple Inc. の登録商標です。
Microsoft、Windows 及び Windows ロゴは米国及び他諸国のマイクロソフト社の登録商標です。
ViewSonic 及び 3 羽の鳥のロゴは ViewSonic 社の登録商標です。
VESA は Video Electronics Standards Association の登録商標です。
DPMS、DisplayPort 及び DDC は VESA の商標です。
ENERGY STAR® は米国環境保護庁（EPA） の登録商標です。
ENERGY STAR® パートナーとして、ViewSonic® Corporation は本製品がエネルギー効率のための ENERGY STAR® ガイドラインに準拠することを決定しています。

1. 開梱と設置

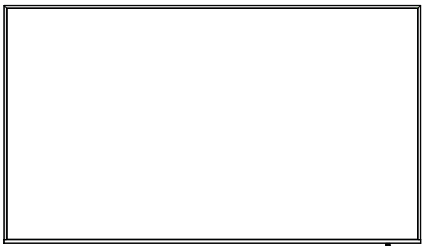
1.1. 開梱

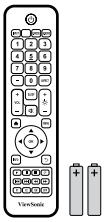
- 本製品は、標準の付属品と一緒にパッケージに梱包されています。
- その他のオプションのアクセサリは、個別に梱包されます。
- 本製品のサイズと重量の配慮するため、2 人以上で運ぶことをお勧めします。
- 開梱後、中身が完全で良好な状態であることを確認してください。

1.2. 付属品

本製品は、下記の標準付属品が付属されています：

- 液晶ディスプレイ本体
- 単 4 電池付きリモコン
- クイックスタートガイド
- 保証書
- 電源コード (1.8 M)
- HDMI 入力ケーブル (3 M)
- HDMI 出力ケーブル (1.5 M)
- RS232 ケーブル (1.8 M)
- 壁取り付けネジ x 4
- RS232 アダプター

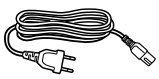




Remote Control
and AAA Batteries

Quick Start Guide

* The supplied power cord varies depending on destination.

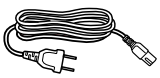


For EU

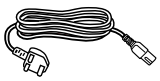
For China

HDMI in cable (3M)

HDMI out cable (1.5 M)

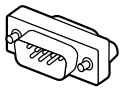


For North America



For UK

Screws x 4



RS232 adapter

注意事項：

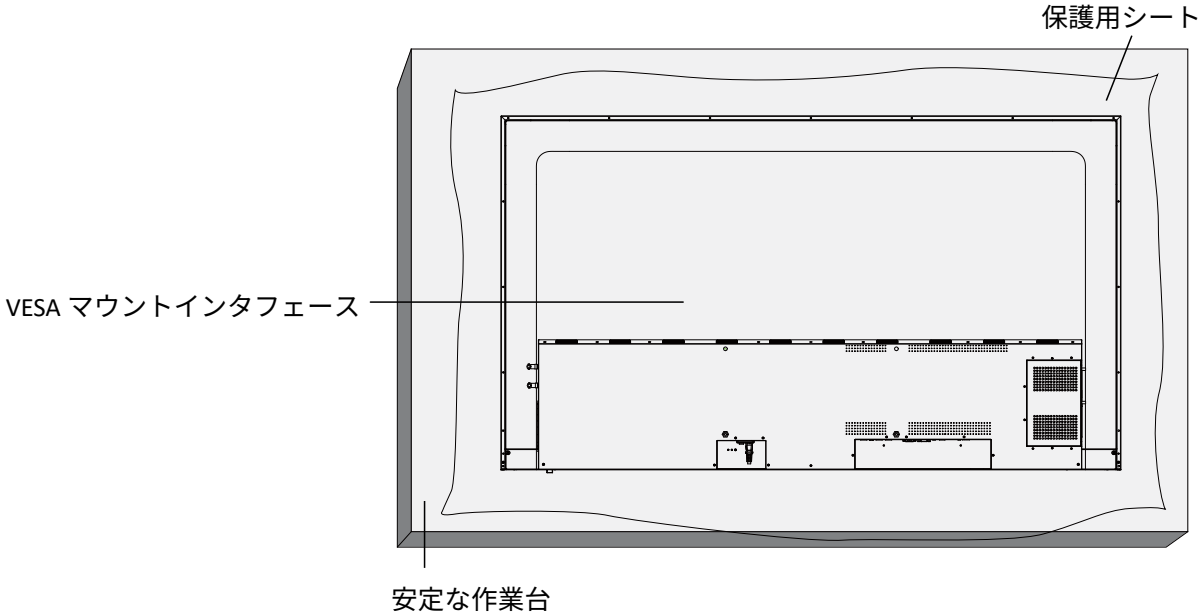
- 同梱されている電源コードとビデオケーブルは、お住まいの国や地域によって規格が異なる場合があります。詳細については、お近くの販売代理店または ViewSonic カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
- 本製品の輸送のため、パッケージボックスと梱包材を保管してください。

1.3. 設置に関する注意事項

- 本製品の消費電力が大きいため、必ず本製品専用のプラグをご使用ください。延長線が必要な場合は、ViewSonic カスタマーサポートセンターまたは代理店にご相談ください。
- 本製品は、転倒しないように平らな面に設置する必要があります。製品の背面と壁の間の距離は、適切な換気のために維持する必要があります。電子部品の寿命を縮めないように、キッチンやバスルームなど湿度の高い場所への設置は避けてください。
- 本製品は通常、高度 3000m 未満の場所のみ動作します。3000 m を超える高度での設置では、異常が発生する可能性があります。

1.4. 壁取り付け仕様

本製品を壁に取り付けるには、標準の壁取り付けキットを使う必要があります。
北米の UL1678 規格に準拠した取り付けインターフェースを使用することをお勧めします。



1. 本製品を取り付けるためのすべてのアクセサリ（壁取り付け、天井取り付け、スタンドなど）があることを確認してください。
2. 取り付けキットに付属のマニュアルに従ってください。正しい取り付け手順に従わないと、機器が損傷したり、ユーザーや設置者が怪我をしたりする可能性があります。
   製品保証は、不適切な取り付けによって引き起こされた損傷には適用されません。
3. 画面の表面を傷つけないように、テーブルの上に保護シートを置いて、画面の表面の下に置きます。
4. 壁取り付けキットには、M6 ネジ（取り付けブラケットの厚さより 25 mm 長い長さ）を使用して、しっかりと締めてください。
5. 最も安全な設置をするために、耐荷重は本体重量以上、M6 規格ネジに対応している壁取り付けキットをご利用してください。台座やスタンドのない本体重量は下記の表をご参考ください。

モデル名	本体重量
CDE6520	22.95
CDE7520	29.3

6. 本製品は縦設置の使用に対応されていません。

1.4.1. VESA 仕様

モデル名	VESA 仕様
CDE6520	400(H)x200(V)mm
CDE7520	400(H)x200(V)mm

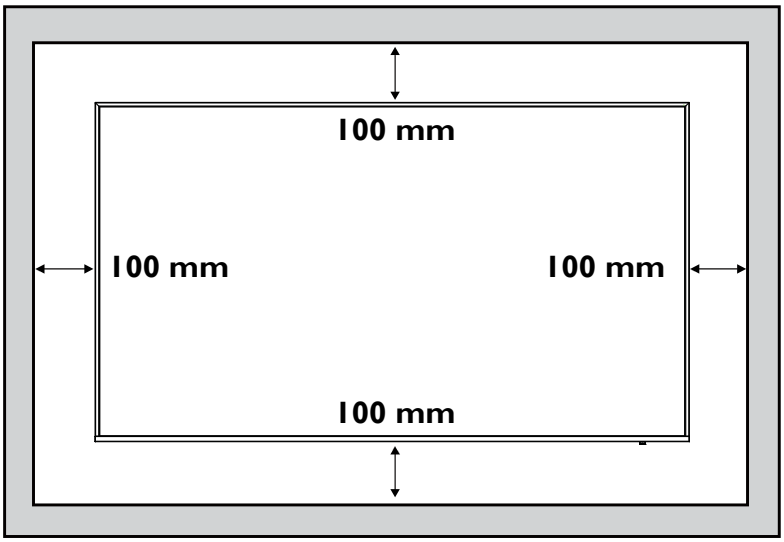
注意事項

本製品の落下を防ぐように：

- 壁や天井に設置する場合は、市販の金属製ブラケットを使用してディスプレイを設置することをお勧めします。取り付け手順の詳細については、それぞれのブラケットに付属のガイドを参照してください。
- 地震などの自然災害によるディスプレイの落下による怪我や損傷の可能性を減らすために、設置場所についてはブラケットの製造元に必ず問い合わせてください。
- 他の建築材料に取り付ける場合は、最寄りの販売店または ViewSonic カスタマーサポートセンターにお問い合わせくださいにお問い合わせください。

壁取り付けの換気要件

換気を妨げないように、下図のように周囲のものの間に最低 10cm の距離を確保してください。

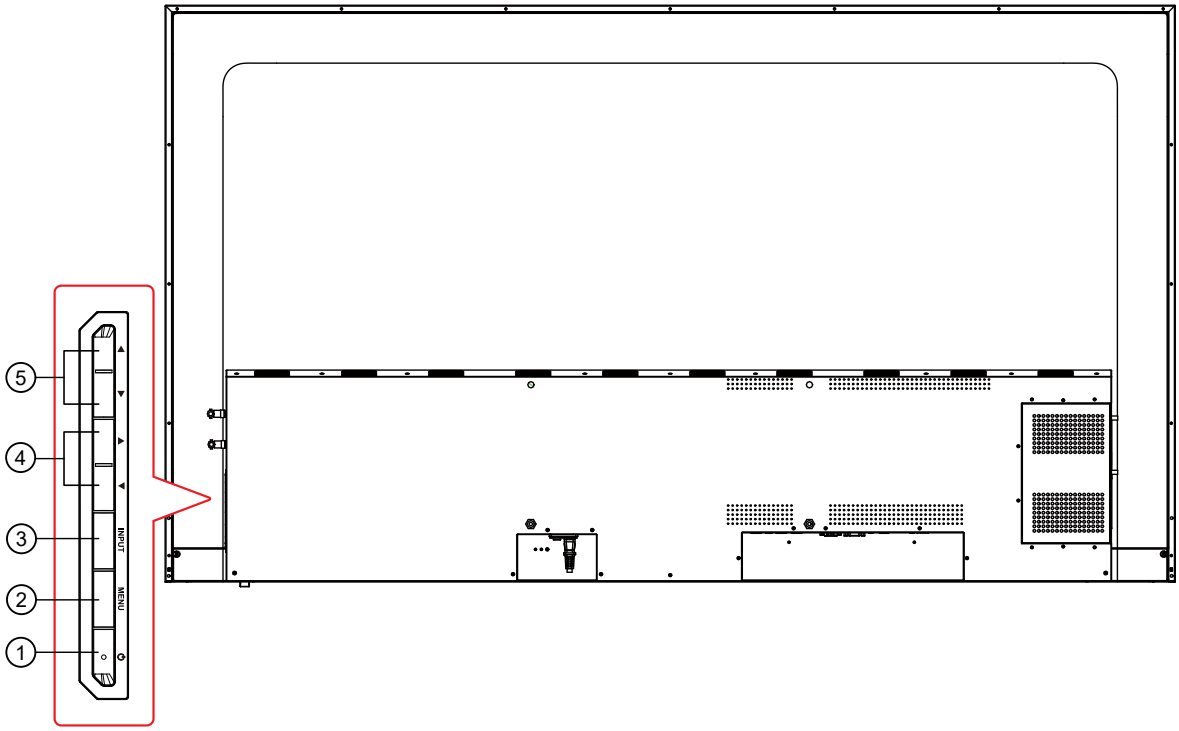


注意事項：

本製品を壁に設置する場合は、適切に設置してください。
専門の技術者が行っていない設置については、当社は一切責任を負いません。

2. 各部の名称と機能

2.1. コントロールボタン



① ⏻ ボタンを押して、電源をオン / オフにします。

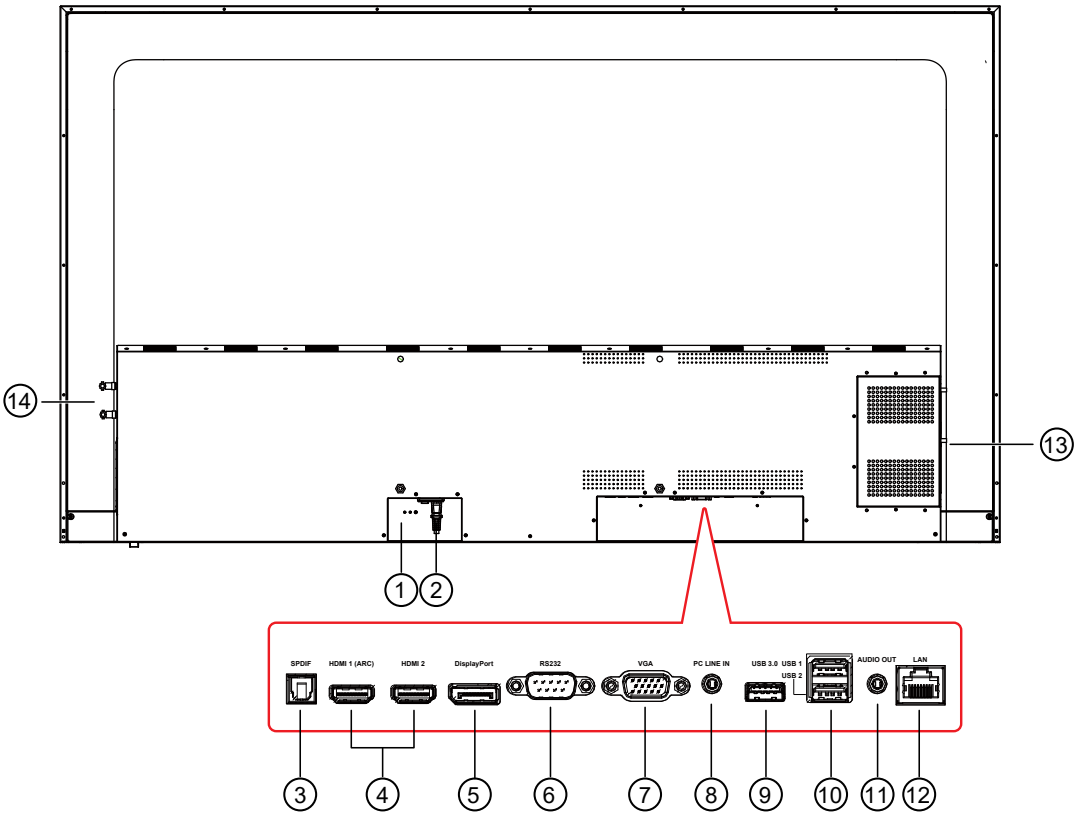
② メニューボタンを押してメインメニューにアクセスできます。また、入力ソースメニューで操作の確定として使います。

③ 入力ボタンを押して入力ソースメニューにアクセスできます、このメニューにて入力元を選択できます。また、メインメニューで入力ボタンは操作の確定として使います。

④ OSD メニューが表示されている場合は、◀/▶ ボタンを押して数値調整するか、項目を選択します。

⑤ OSD メニューが表示されている場合は、▲ / ▼ ボタンを押して項目を選択します。また、この二つのボタンは音量の調整に使えます。

2.2. 入出力ポート



① **メイン電源スイッチ**
電源のオン / オフを切り替えます。

② **AC 電源入力ジャック**
コンセントからの AC 電源入力ジャック。

③ **SPDIF 出力**
デジタル音声信号を外付け AV 機器に出力する。

④ **HDMI 1(ARC)/HDMI 2 入力ポート**
ビデオ / オーディオの HDMI 2.0 入力ポート。

⑤ **DisplayPort 入力**
ビデオ / オーディオの DisplayPort 入力ポート。

⑥ **RS232 入力**
コントロールセンターからの遠隔制御信号を入力する。

⑦ **VGA (D-Sub) 入力**
VGA (D-Sub) ビデオ入力。

⑧ **音声入力ジャック**
VGA 入力を使用するときに音声信号を入力する 3.5mm ステレオミニジャック。

⑨ **USB Type-A 3.0/ ⑩ USB Type-A 2.0 ポート**
USB メモリに接続する。

⑪ **音声出力ジャック**
外付け AV 機器に出力する 3.5mm ステレオミニジャック。

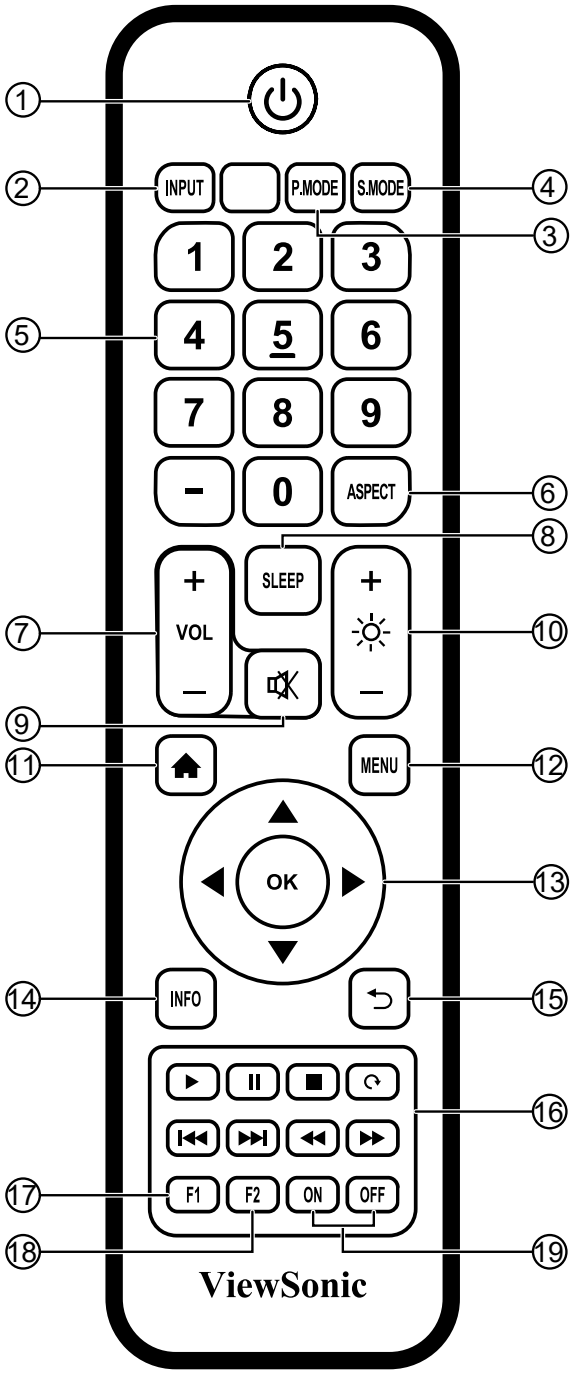
⑫ **LAN ポート**
コントロールセンターからの遠隔制御信号を入力するための LAN 入力ポート。

⑬ **OPS スロット**
オプションの OPS モジュールを設置するためのスロット。

⑭ **WiFi モジュールスロット**
VB-WIFI-001 WiFi モジュールを設置するためのスロット。

2.3. リモコン

2.3.1. 機能概要



① **[⏻] ボタン**
電源のオン / オフ

② **[INPUT] ボタン**
入力ソースの選択

③ **[P.MODE] ボタン**
HDMI/DP/VGA 入力での画像調整メニュー

④ **[S.MODE] ボタン**
HDMI/DP/VGA 入力での音声調整メニュー

⑤ **[NUMERIC] ボタン**
数字キーパッド

⑥ **[ASPECT] ボタン**
HDMI/DP/VGA 入力でのアスペクト比調整

⑦ **[VOL +/-] ボタン**
音量 +/- 1

⑧ **[SLEEP] ボタン**
バックライトのオン / オフ

⑨ **[🔇] ボタン**
ミュート

⑩ **[☼] ボタン**
画面の明るさ +/- 1

⑪ **[🏠] ボタン**
内蔵 Android プレーヤーのホーム画面に戻る

⑫ **[MENU] ボタン**
設定メニュー

⑬ **[◀/▶/ ▲ / ▼ /OK] ボタン**
左 / 右 / 上 / 下 /Ok ボタン

⑭ **[INFO] ボタン**
チャネル情報を表示する

⑮ **[↩] ボタン**
前のページに戻ります

⑯ **[▶/ II /■/ ↻/ ⏮/ ⏭/ ◀◀/ ▶▶] ボタン**
メディアプレーヤーのコントロール

⑰ **[F1] ボタン**
画面をキャプチャする

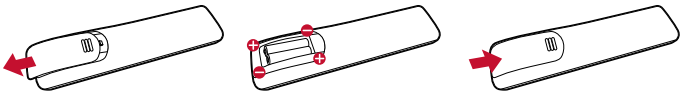
⑱ **[F2] ボタン**
画面をフリーズする

⑲ **[ON/OFF] ボタン**
電源のオン / オフ

2.3.2. リモコンの電池の交換

本製品のリモコンは 2 本の 1.5V AAA 単 4 電池のみに対応されています。

電池の設置や交換には：



1. リモコンの背面にある電池カバーのグリップを押しながらスライドさせて取り外します。
2. 2 本の単四電池を取り付けます。電池の「+」と「-」極性が電池スロットと一致することをご確認ください。
3. 電池カバーをリモコンのスロットに合わせて押し込み、元の位置にに戻します。

注意事項：

電池の誤った使用は、漏れや破裂につながる可能性があります。 必ず次の事項を注意してください。

- 電池の（+）および（–）記号を電池スロットの（+）および（–）記号に一致させて配置してください。
- 電池の種類を混ぜないでください。
- 新品と中古の電池を組み合わせないでください。電池の寿命が短くなったり、液漏れしたりします。
- 電池に液漏れないように、残量のない電池はすぐに取り外してください。電池から漏れた液体に直接触れないでください、皮膚に損傷を与える可能性があります。
- 長時間リモコンを使わない場合は、電池を外してください。

2.3.3. リモコンの取り扱い

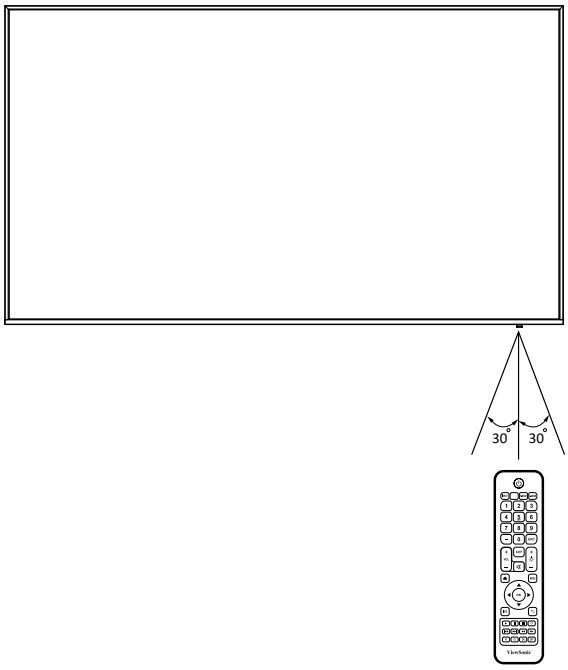
- 強い衝撃を受けないでください。
- 水やその他の液体がリモコンに飛散しないようにしてください。リモコンが濡れた場合は、すぐに拭いて乾かしてください。
- 熱や蒸気にさらさないでください。
- 電池を取り付ける以外は、リモコンのカバーを開かないでください。

2.3.4. リモコンレシーバーの範囲

リモコンを使用する時に、リモコンの前面を本製品に向けて、右下隅のリモコンレシーバーに向けてください。

また、以下の距離と範囲で使用してください：
距離：レシーバーから 8m/26ft 以内。
範囲：レシーバーの水平 / 垂直角度が 30 度以内。

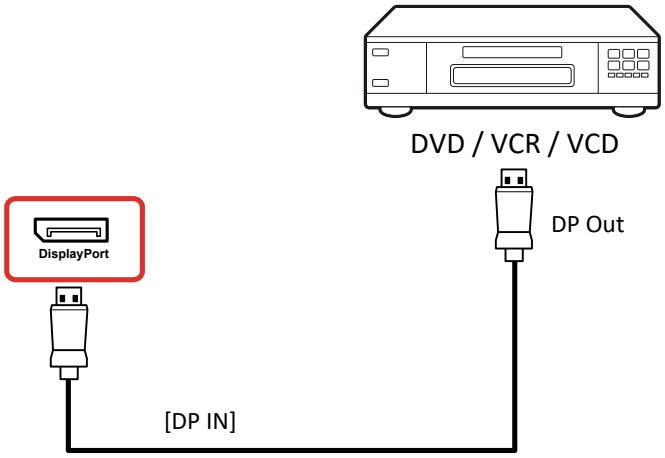
注意事項：リモコンレシーバーが直射日光や強い照明の下にある場合、または信号の伝送経路に障害物がある場合、リモコンが正常に機能しない場合があります。



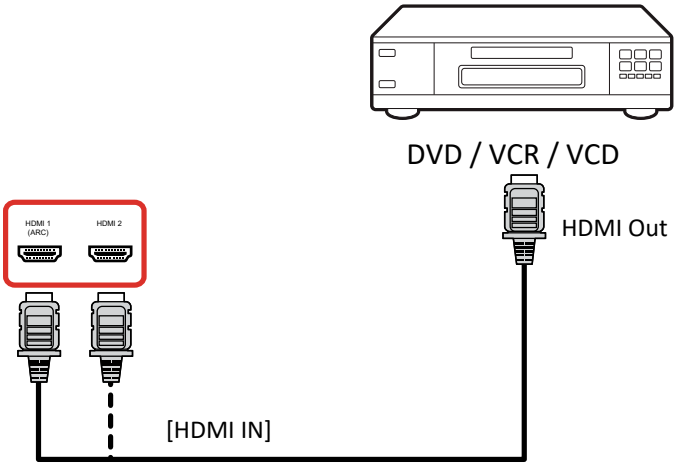
3. 外部機器の接続

3.1. 外部機器の接続 (DVD/VCR/VCD)

3.1.1. DispalyPort ビデオ入力を使用する場合

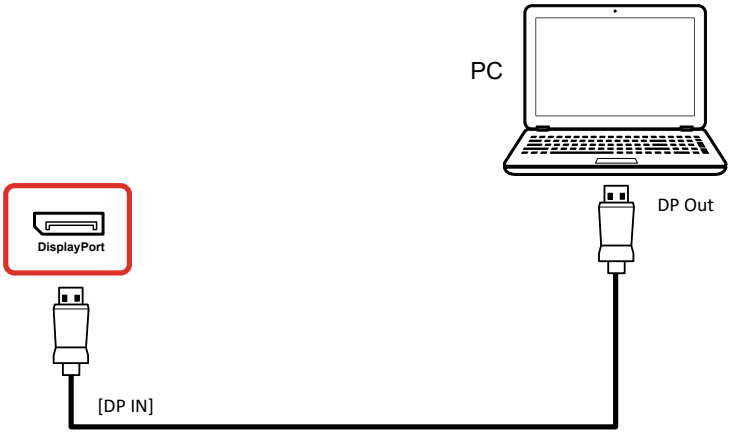


3.1.2. HDMI ビデオ入力を使用する場合

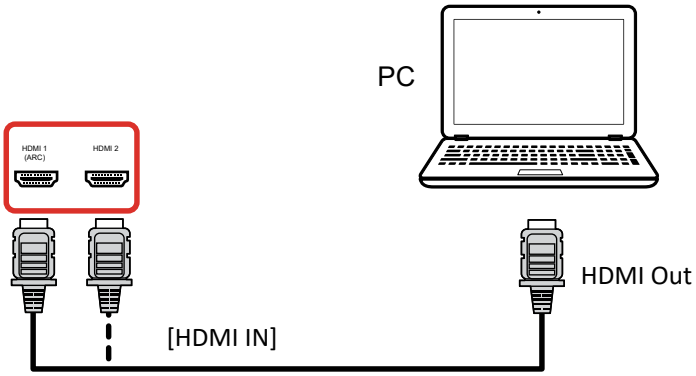


3.2. PC との接続

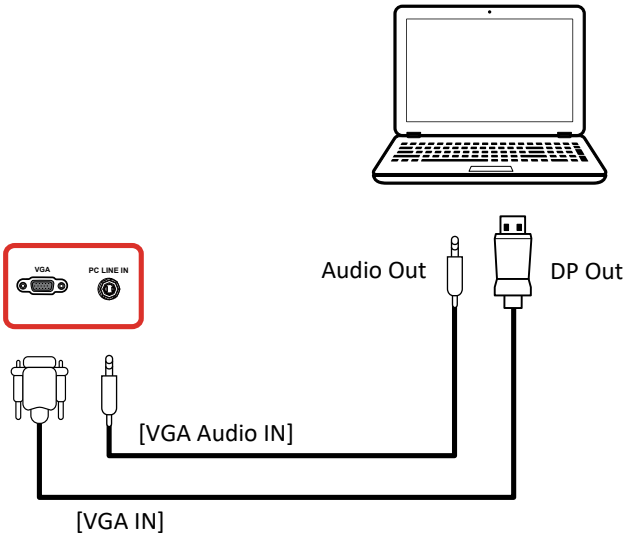
3.2.1. DispalyPort 入力を使用する場合



3.2.2. HDMI 入力を使用する場合

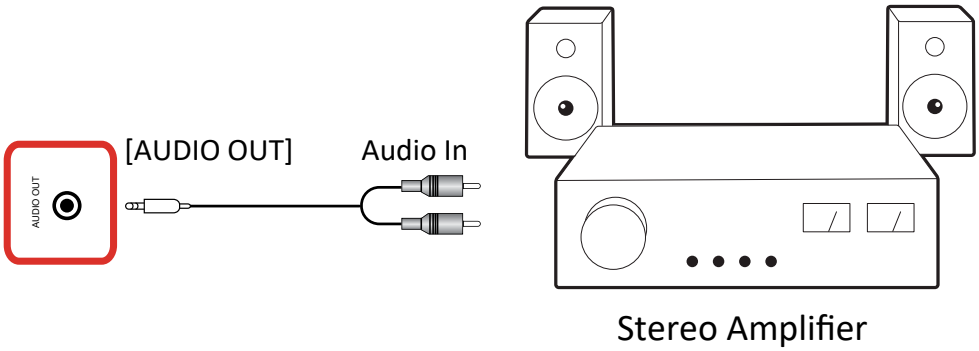


3.2.3. VGA (D-Sub) 入力を使用する場合



3.3. 外部音声機器の接続

3.3.1. 外部音声出力機器に接続



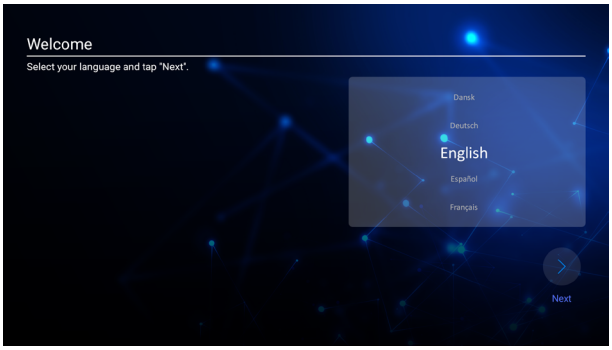
4. 操作

注意事項：本章で説明するコントロールボタンは、特に指定がない限り、主にリモコンでございます。

4.1. 起動と初期設定

4.1.1. Welcome

ご希望な言語を選択して、“次へ”を選択してください。

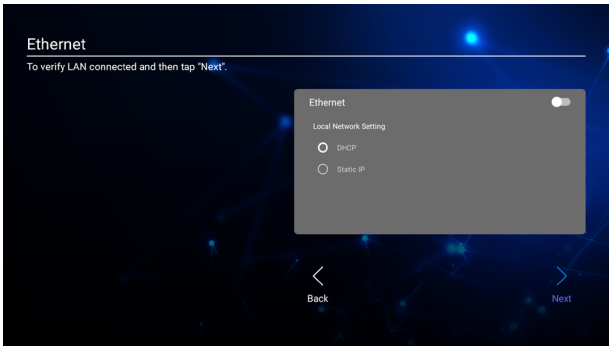


4.1.2. イーサネット

“次へ” ボタンを押すと、次のページは下記項目が表示されます。

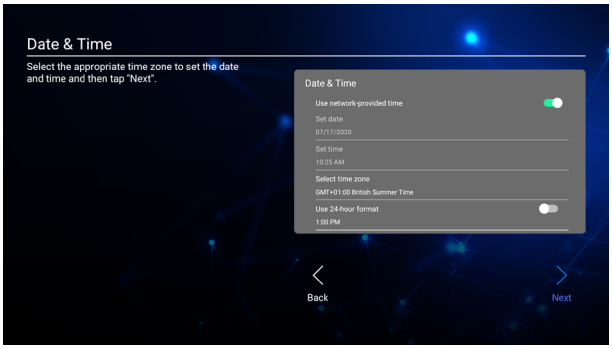
1. 接続タイプ : DHCP / 静的 IP
2. IP アドレス
3. ネットマスク
4. DNS アドレス
5. ゲートウェイ

“戻る”を選択して前のページに戻れます。



4.1.3. 日付と時刻設定

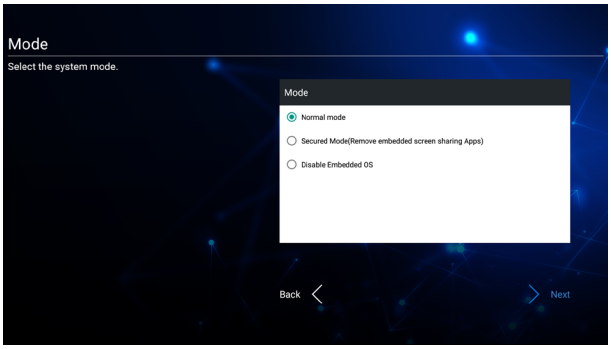
“ネットワーク時刻同期”を有効にしてネットワークにより時刻を同期するか、タイムゾーンを選択します。



4.1.4. システムモード

システムを通常モード、セキュリティモード、または組み込み OS を無効のモードに選択します。

- 通常モード：内蔵された画面共有アプリは正常に動作します。
- セキュリティモード：内蔵された画面共有アプリは削除されるようにします。
- 組み込み OS を無効：システムが自動的に再起動し、組み込み OS 無効になります。



4.2. 接続されているビデオソース一覧

1. **INPUT** ボタンを押します。
2. ▲または▼ボタンを使って入力ソースを選択します、次に OK ボタンを押してください。

5. ランチャー画面

リモコンのホームボタンを押すと、ランチャー画面が表示されます。

5.1. 設定

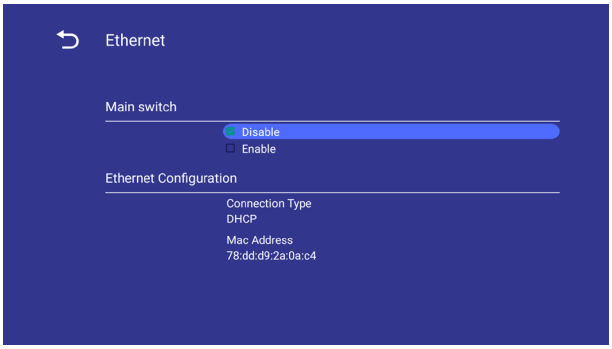
主な項目：

(1) ネットワーク
(2) デバイス
(3) システム

5.2. イーサネット

イーサネットを有効 / 無効にします。
有効にすると、下記設定が表示されます：

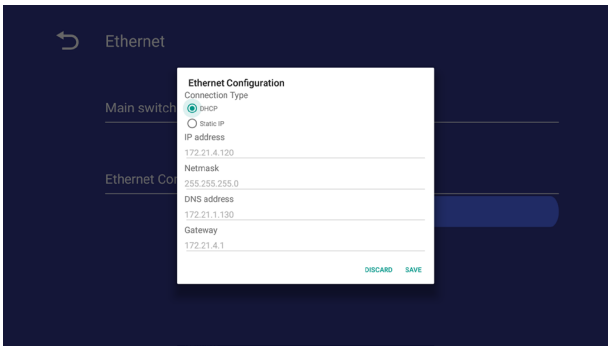
(1) 接続タイプ (2 タイプが選択可能です：DHCP/ 静的 IP)
　A. DHCP
　B. 静的 IP
　C. IP アドレス
　D. ネットマスク
　E. DNS アドレス
　F. ゲートウェイ
(2) Mac アドレス



5.2.1. DHCP

DHCP モード：

(1) IP アドレス、ネットマスク、DNS アドレス、ゲートウェイは変更できません。
(2) 接続に成功すると、現在のネットワーク構成が表示されます。



5.2.2. 静的 IP

静的 IP モードでは、ユーザーが IP アドレス、ネットマスク、DNS アドレスとゲートウェイを入力可能です。

注意事項：

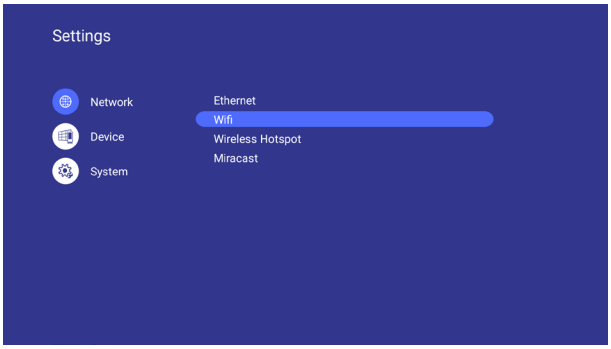
IP アドレス、ネットマスク、DNS アドレスとゲートウェイの入力には次の制限があります。

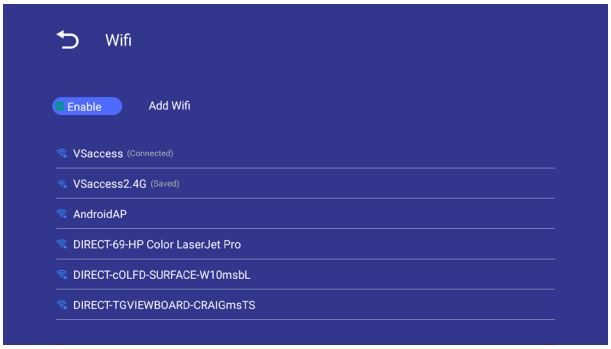
(1) 入力形式：

I. 数値は 0-9 です。
II. 小数点は “.” です。

5.3. WiFi

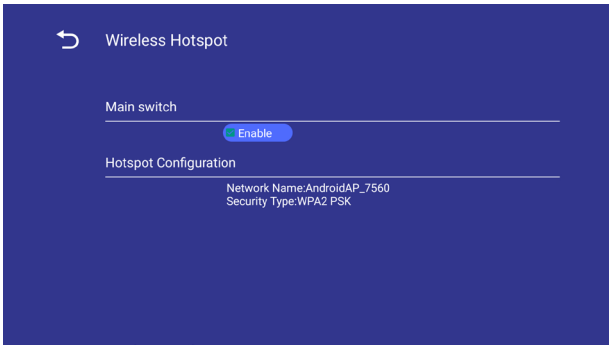
USB WiFi ドングルを差し込むと、ネットワーク設定に WiFi、ワイヤレスホットスポット、ミラキャストが表示されます。
Wi-Fi を有効 / 無効に切り替えます。有効にすると、画面に利用可能な WiFi 情報が表示されます。





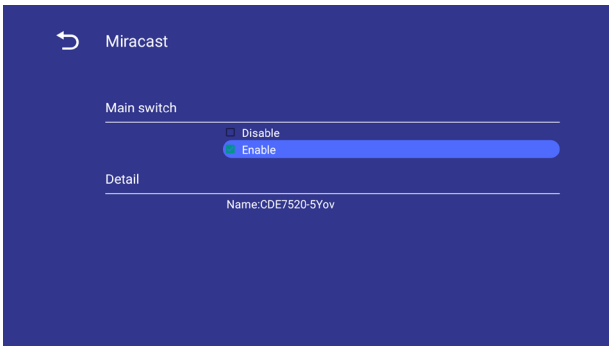
5.3.1. Wi-Fi ホットスポット

Wi-Fi ホットスポットを有効にすると、お使いのデバイスにインタネット接続を共有できます。



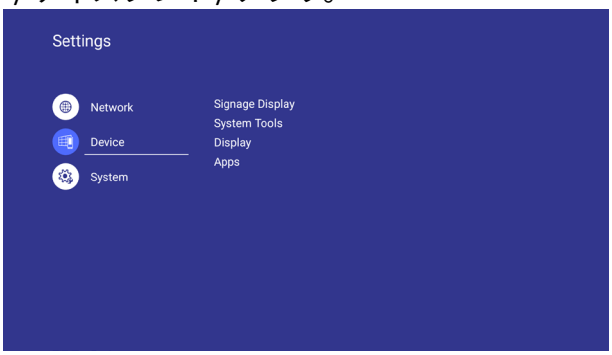
5.3.2. ミラキャスト

ミラキャストを有効にすると、お使いのスマートデバイスの画像を本製品に投影できます。

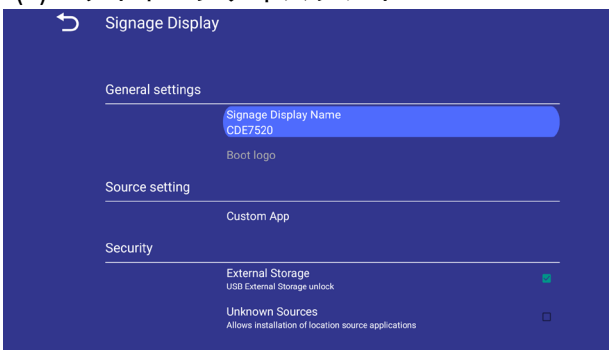


5.4. デバイス

デバイス設定には、4 つのグループにアクセスできます：サイネージディスプレイ / システムツール / ディスプレイ / アプリ。

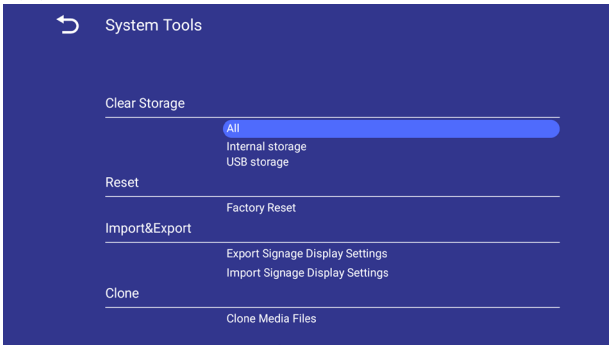


(1) サイネージディスプレイ



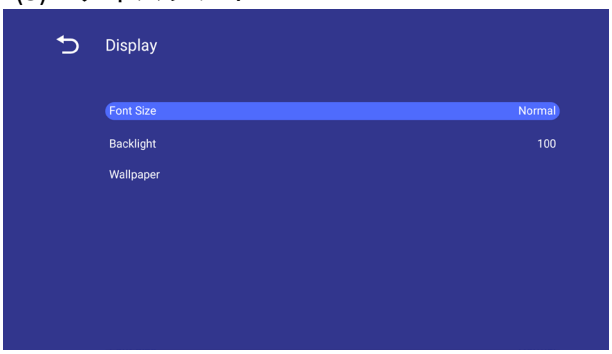
A. 一般設定
B. ソース設定
C. セキュリティ

(2) システムツール



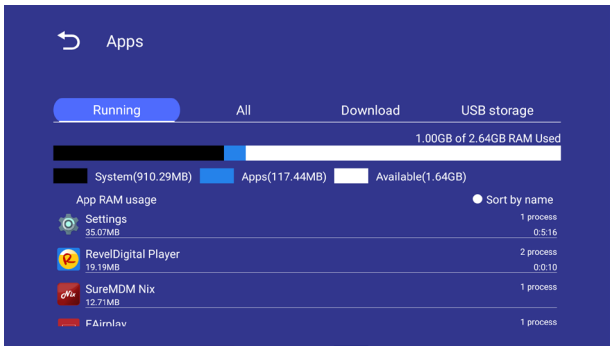
A. ストレージの消去
B. リセット
C. インポートおよびエクスポート
D. 複製

(3) ディスプレイ



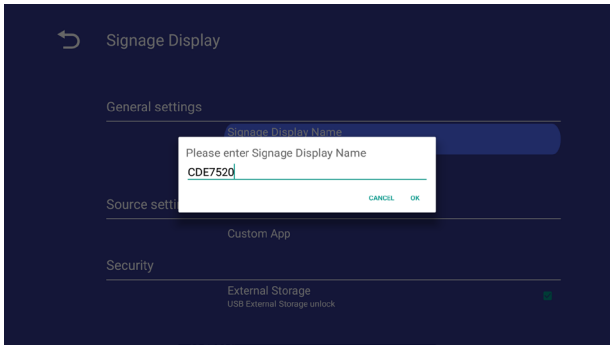
A. フォントサイズ
B. バックライト
C. 壁紙

(4) アプリ
A. アプリの情報を一覧します。

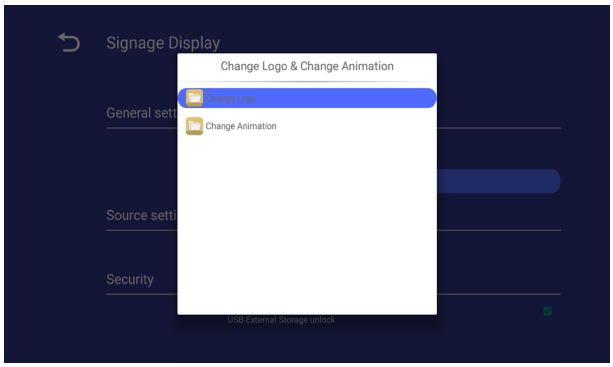


5.4.1. 一般設定

1. サイネージディスプレイ名
サイネージディスプレイ名を設定します。
注意事項：
入力制限があります：
(1) 長さ：最大 36 桁
(2) 形式：制限がございません。

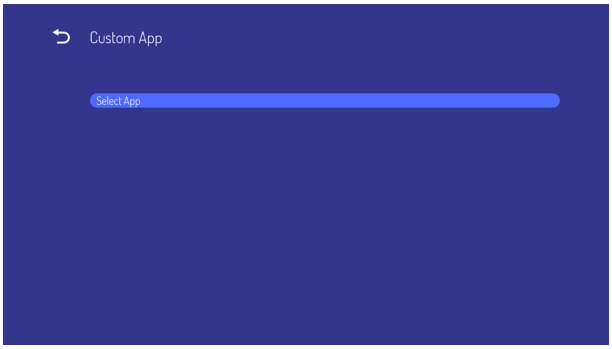


2. 起動ロゴ
1) OSD メニューにて起動ロゴを有効 / 無効にするには：
RCU 手順：メニュー -> 詳細 -> 起動ロゴ -> オン / オフ / ユーザー
ユーザーモードの場合は、ユーザーは独自の起動ロゴや動画ファイルを選択できます。
注意事項：
(1) 起動ロゴファイル形式：JPG 形式のみに対応されます。
(2) 起動動画ファイル名：bootanimation.zip
(3) USB からのファイルを選択するためのメッセージが表示されます。優先順位の問題はありません。

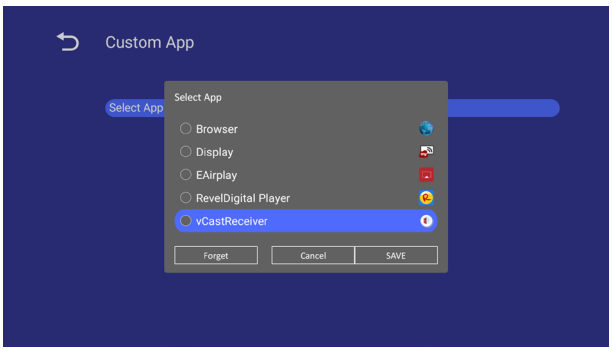


5.4.2. ソース設定

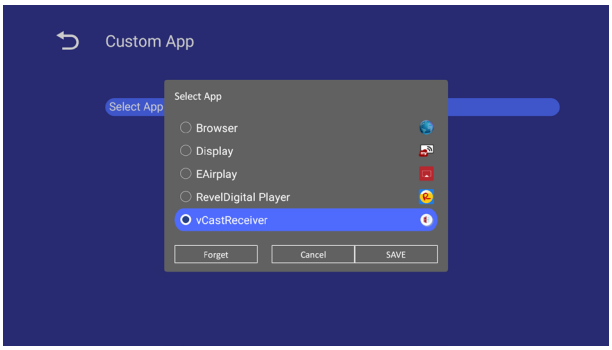
1. カスタムアプリ
ユーザーは独自のアプリケーションをセットアップできます。
カスタマアプリを設定した場合、ソースをカスタマモードに切り替えて、本製品はカスタマーアプリをデフォルトソースとして開きます。
カスタマアプリが設定されていない場合、ソースをカスタマモードに切り替えても、本製品はランチャー画面を表示します。



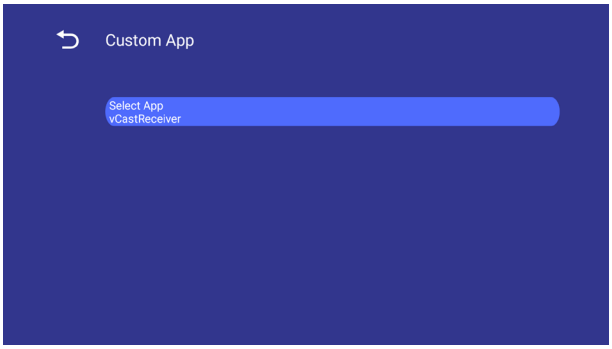
機能ご紹介



(1) 保存
アプリを選択して保存を押すと、設定が保存されます。
(2) 保存を消去
このオプションを選択すると、保存された設定が消去されます。
(3) キャンセル
変更が行いません、ウインドウが直接に閉じられます。
ユーザーがアプリをインストールされた場合は、このリストが非表示になります。
ユーザーはインストールされたアプリを選択して設定を保存することが可能です。



保存すると、アプリ名が表示されます。



5.4.3. セキュリティ

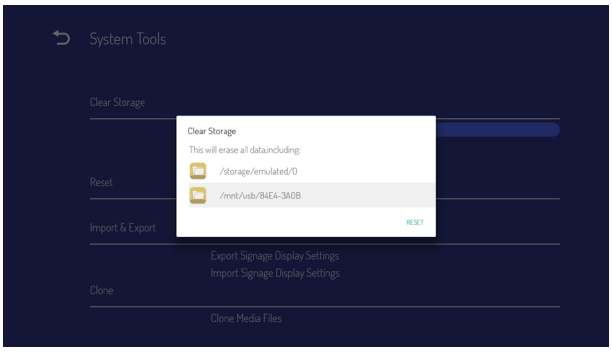
1. 外部ストレージ
   チェックマークを表示：
   USB 外部ストレージのロックを解除。
   チェックマークを消去：
   USB 外部ストレージのロックを有効。
2. 不明なソース
   チェックマークを表示：
   提供元不明のアプリのインストールを許可。
   チェックマークを消去：
   提供元不明のアプリのインストールを禁止。

注意事項：
USB 外部ストレージのロックを解除した後、本製品が自動的に再起動になり、そして USB 外部ストレージを再接続する必要があります。

5.4.4. ストレージの消去

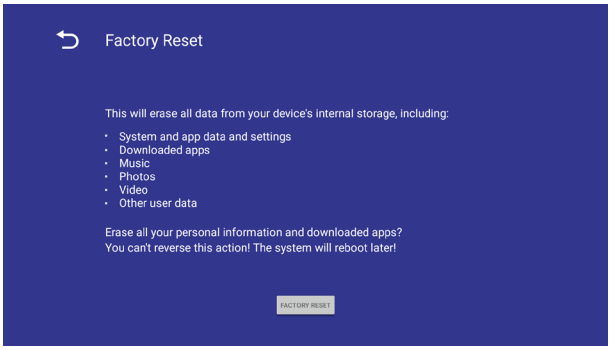
Viewsonic フォルダのすべてのデータを消去します。3 つのオプションがあります：

(1) すべての Viewsonic フォルダのデータを消去。
(2) 内部ストレージでの Viewsonic フォルダのみを消去。
(3) USB ストレージの Viewsonic フォルダのみを消去 .



5.4.5. リセット

「工場出荷時にリセット」は、本製品を出荷時のデフォルト設定にリセットできます。



「工場出荷時にリセット」を押すと、リセット機能が自動的に実行されます。

5.4.6. インポート & エクスポート

この機能は本製品の設定をインポートまたはエクスポートにします。

注意事項：

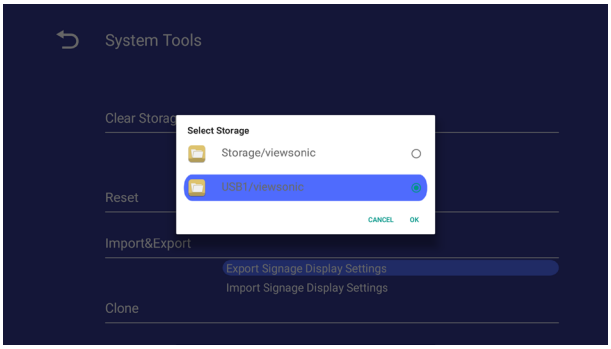
(1) 保存のファイル名：vs8386SettingFile.txt
(2) ストレージの ViewSonic フォルダに保存されます。

5.3.6.1 ディスプレイの設定をエクスポート

USB メモリの ViewSonic フォルダにエクスポートようにします。

(1) OSD 設定、Android 設定、“サイネージディスプレイ名” と “起動ロゴ”を含めて、vs_vs8386SettingFile.txt ファイルをエクスポートするようにします。

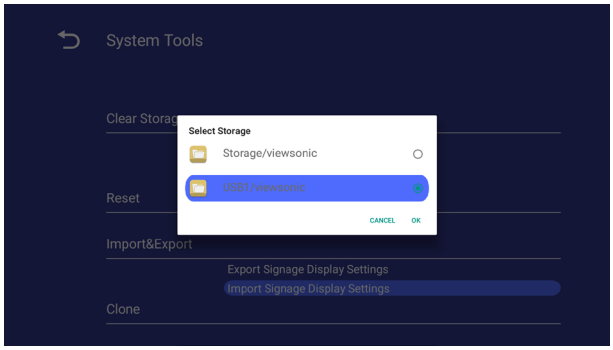
注意事項：
USB メモリに ViewSonic のフォルダがありません場合は、自動的に作成されるようにします。



5.3.6.2 ディスプレイの設定をインポート

USB メモリの ViewSonic フォルダからインポートするようにします。

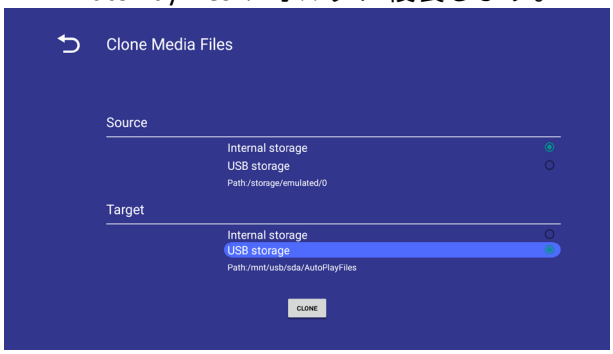
(1) OSD 設定、Android 設定、 サイネージディスプレイ名 と 起動ロゴを含めて、vs_vs8386SettingFile.txt のファイル名でエクスポートします。



5.4.7. 複製

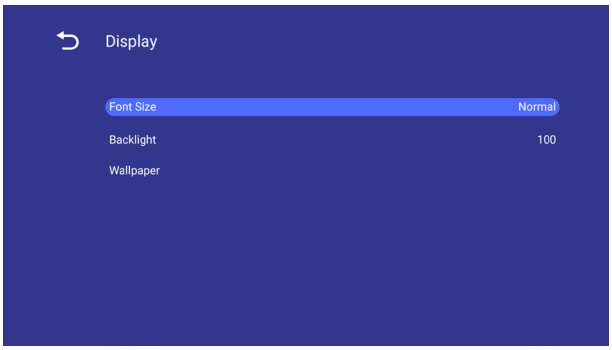
内蔵の ViewSonic フォルダからメディアファイルを複製します。

1. ファイルは AutoPlayFiles のフォルダに複製されます。
2. ソース
   (1) 内部ストレージ
   内部の AutoPlayFiles フォルダから複製します。
   (2) USB ストレージ
   USB メモリのルートディレクトリの AutoPlayFiles フォルダから複製します。
3. ターゲット
   (1) 内部ストレージ
   内部の AutoPlayFiles フォルダに複製する。
   (2) USB ストレージ
   USB メモリのルートディレクトリの AutoPlayFiles フォルダに複製します。



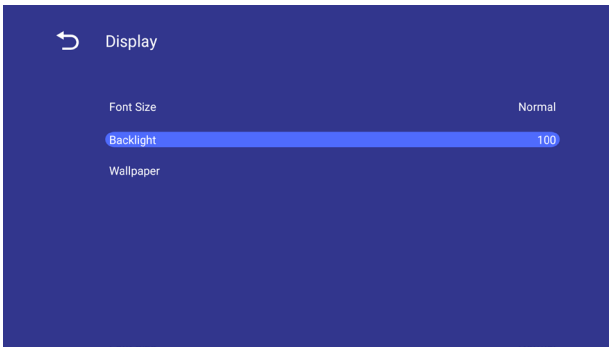
5.4.8. フォントサイズ

フォントのサイズをお選びいただけます。



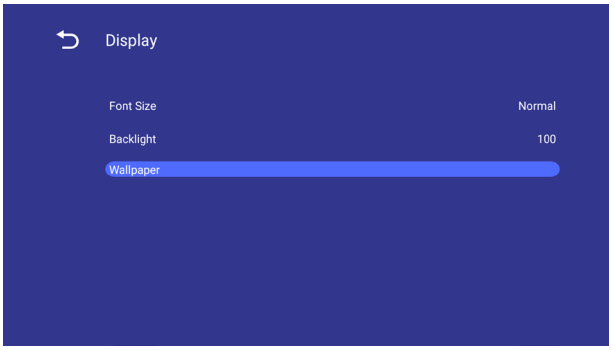
5.4.9. バックライト

画面の明るさをお選びいただけます。



5.4.10. 壁紙

壁紙をお選びいただけます。

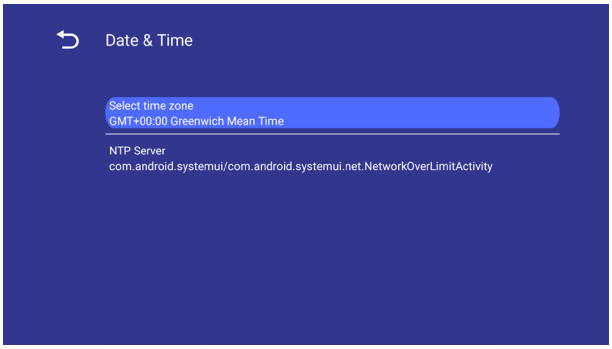


5.5. システム

こちら、日時と情報の二つの項目があります。

5.5.1. 日時

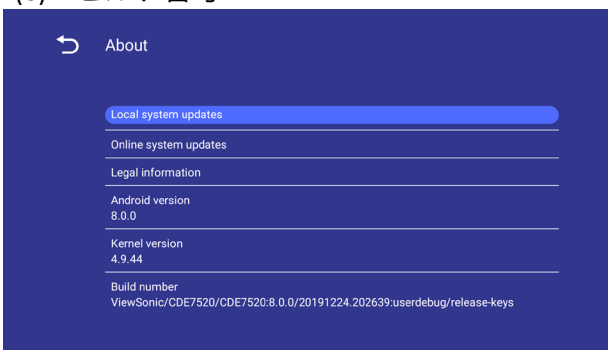
こちらにてタイムゾーンをお選びいただけます。



5.5.2. 情報

下記の情報が表示されています：

(1) ローカルのシステム更新
(2) オンラインのシステム更新
(3) 法的情報
(4) Android バージョン
(5) カーネルバージョン
(6) ビルド番号

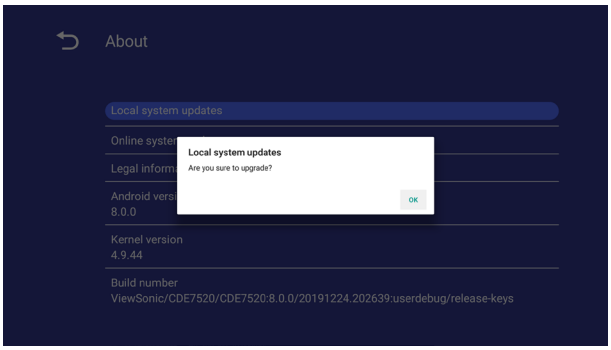


5.5.2.1 ローカルシステム更新

ファームウェアフォルダ (upgrade_8386) を USB メモリに入れて、本製品に接続して自動検出すると、下記リストメッセージが表示されます。

注意事項：

(1) 完全な Android ファームウェアイメージのみに対応されます。
(2) フォルダ名は“upgrade_8386”にしなければなりません。
(3) このフォルダは USB メモリのルートディレクトリに入れる必要があります。



OK を押すと、本製品が再起動を行って、更新を実行します。

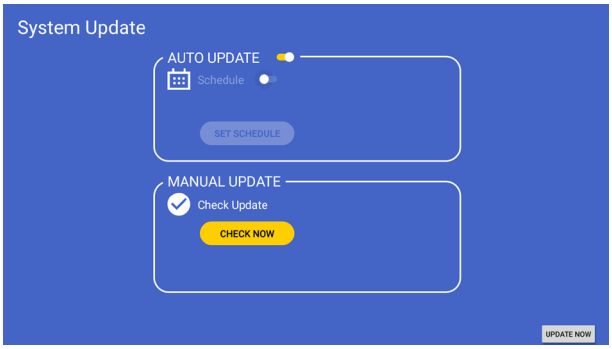
5.5.2.2. オンラインのシステム更新

オンラインのシステム更新には下記オプションがあります：

(1) 自動更新：Windows Update のように、電源ボタンを押して本機をオフにすると、システムは新しいバージョンがあるかどうかを自動的に検出します。新バージョンがある場合、システムが自動的にダウンロードして更新します。更新が完了すると、システムはオフにします。

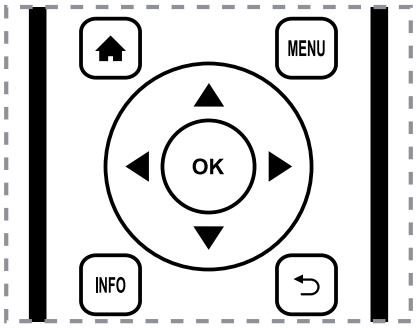
(2) スケジュール：更新を自動的に実行するようにスケジュールを設置します。(例えば非稼働日)

(3) 手動更新：ユーザーは手動で OTA 更新の確認と実行を行えます。



6. OSD メニュー

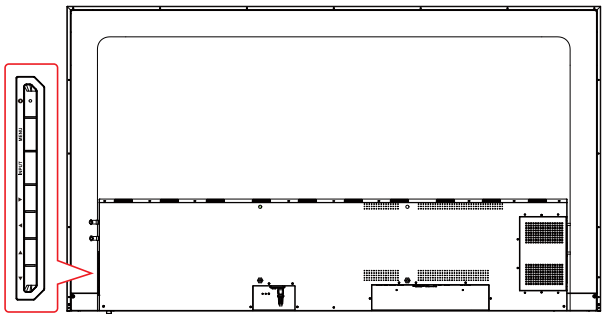
本章は OSD メニューの概要をご説明いたします。OSD メニューを通じて、本製品の設定を調整できます。



リモコンを使って OSD メニューにアクセスするには：

1. [Menu] ボタンを押して、OSD メニューが表示されます。
2. [▲] [▼] [◄] または [►] ボタンを押して、メニュー項目を選択するまたは数値を調整します。OK ボタンを押して調整を確定します。
3. [⮌] ボタンを押して前のメニューに戻ります。
4. [Menu] ボタンを押して OSD メニューを終了します。

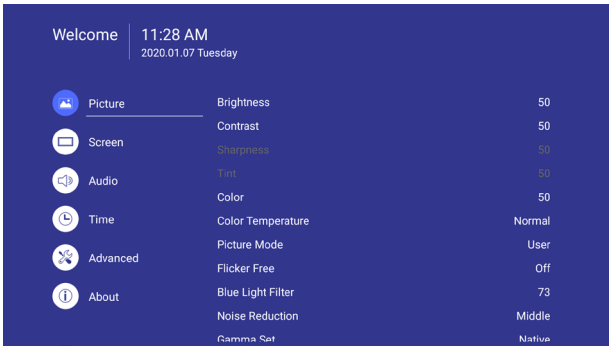
本機のコントロールボタンを使って OSD メニューにアクセスするには：



1. [Menu] ボタンを押して OSD メニューが表示されます。
2. [◄/►] または [▲ / ▼] ボタンを押してメニューの項目を選択または設定値を調整します。
3. [INPUT] ボタンを押して入力ソースの選択メニューにアクセスして、入力ソースを選択できます。このボタンも OSD メニュー操作での確認に使用します。
4. [⏻] ボタンを押して本製品をオンまたはオフにします。

6.1. 設定

6.1.1. 画像設定



輝度

画像とバックライト全体的な明るさを調整します。

コントラスト

入力信号の映像のコントラスト比を調整します。

シャープネス

この機能は、デジタルで画像の鮮明さを調整できます。

ガンマ選択

表示のガンマ値を選択てきます。ガンマ値は、入力ソースの輝度性能曲線を指します。{ ネイティブ } / {2.2} / {2.4} の 3 つのオプションがあります。

色温度

色温度を調整できます。

色温度が下がると色が赤みががって行き、色温度が上がると青くになります。

CCT	寒色	ノーマル	暖色
X	0.279 ± 0.005	0.283 ± 0.005	0.299 ± 0.005
Y	0.292 ± 0.005	0.298 ± 0.005	0.315 ± 0.005

ピクチャモード

プリセットされた画像設定モードを選択できます。

オーバースキャン

本製品の画像の表示範囲を調整します。
オン：表示範囲を画面の 95% に設定します。
オフ：表示範囲を画面の 100% に設定します。

RGB 範囲

お使いのデバイスからの入力信号フォーマットを基づいて、HDMI または DVI 信号の表示モードを選択します。

- {自動} - 信号フォーマットを自動検出します。
- {全範囲} - 全範囲の 256 レベル (0 ～ 255) を使って信号を表示します。
- {制限範囲} - R、G、B ごとに 256 レベルの 16 ～ 235 の範囲を使って信号を表示します。

フリッカーフリー

アイケア機能のフリッカーフリーをオン / オフにします。

Blue light filter

ブルーライトの乱れを減らすことで目に優しい。ブルーライトフィルターのレベルは、必要に応じて設定できます。

注意事項：

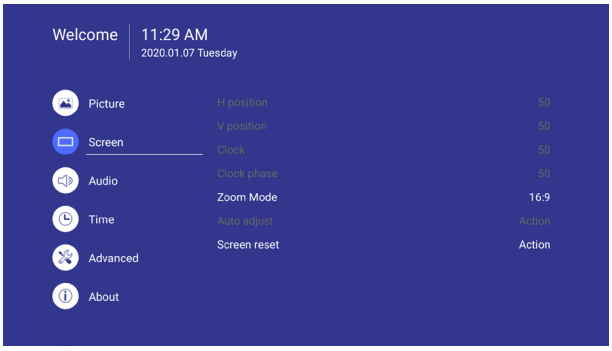
色温度をカスタマイズに選択すると、ブルーライトフィルターが調整可能になります。

画像設定をリセット

すべての画像設定をリセットにします。

“OK” ボタンを押して“リセット”を選択すると、画像設定が工場出荷時設定にリセットされます。 [↩] ボタンを押してリセットをキャンセルして前のメニューに戻ります。

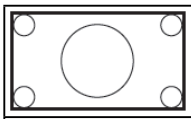
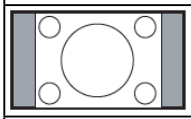
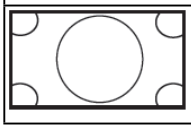
6.1.2. 画面設定



ズームモード

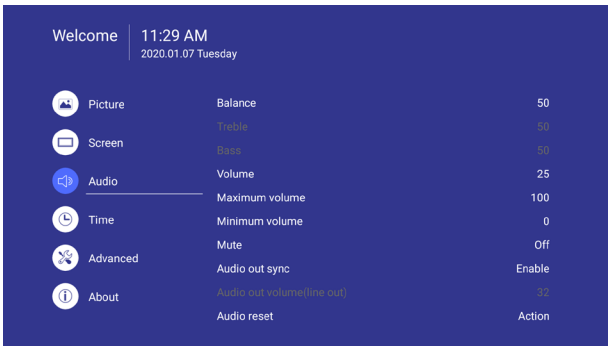
HDMI, DP, VGA 入力のアスペクト比を調整します：{ フル } / {4:3} / { ノーマル }

Android UI の場合はこの機能が選択できません。

	**フル** このモードは全画面を使用して、16:9 で画像の比率を正しくに確保して表示します。
	**4:3** 画像を 4:3 形式で表示され、画像の両側に黒い帯が表示されます。
	**リアル** このモードは、元の画像サイズを拡大縮小せずに、画像をピクセルごとに表示します。

画面設定をリセット
すべての画面設定を工場出荷時設定にリセットします。

6.1.3. 音声設定



バランス
左右のオーディオ出力を強調またはバランスするように調整します。

高音
高音を増減するように調整します。

低音
低音を増減するように調整します。

音量
音声出力の音量を増減するように調整します。

最小音量
最小音量設定の独自制限を調整します。

最大音量
最大音量設定の独自制限を調整します。これにより、音量が大きすぎるレベルで再生されるのを防ぎます。

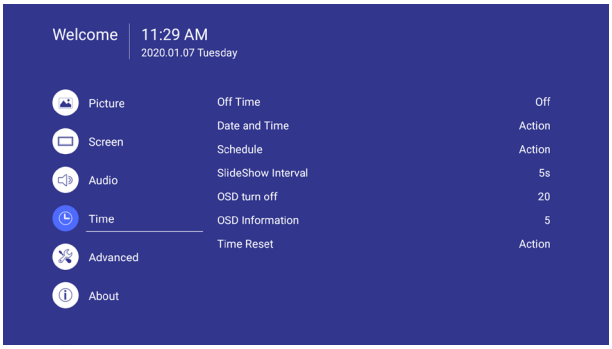
ミュート
ミュート機能をオン / オフにします。

音声出力 (ラインアウト)
音声出力の音量を増減するように調整します

音声出力同期
音声出力の音量を内蔵スピーカーに同期する調整機能を有効 / 無効になります。

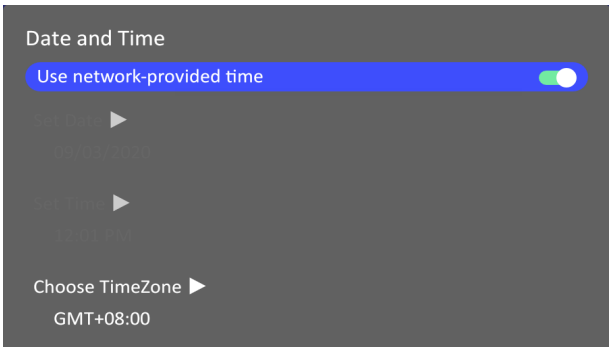
音声設定をリセット
すべての音声設定を工場出荷時設定にリセットします。

6.1.4. 時刻設定

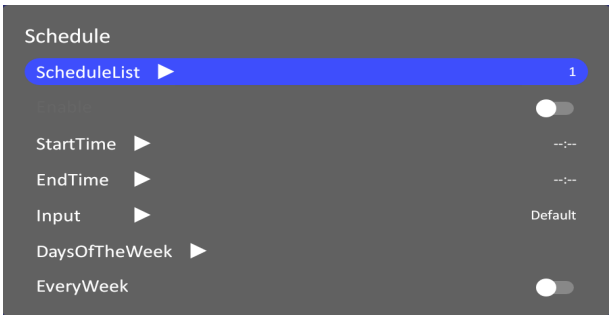


オフタイマー
電源を自動的にオフする時刻を設定します。

日時
内蔵時計の現在の日付と時刻を調整します。



スケジュール
この機能を使用すると、本製品をオンにするために最大 7 つの異なるスケジュールと時間間隔をプログラムに設定できます。



スケジュールリスト：
7 つのスケジュールを設置できます。

- 有効：スケジュールを有効/無効にします。設定された開始/終了時刻が競合または空であるか、入力が空であるか、他のスケジュールリストと時刻が競合されている場合、スケジュールを有効にすることはできません。
- 開始時間：開始時間を設置します。
- 終了時間：終了時間を設置します。
- 入力：本製品は、スケジュールがオンになると、この選択されたソースに自動的に切り替えます。
- 曜日：日曜日、月曜日、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日、および土曜日を選択します。
- 毎週：繰り返すように設定します。

- 戻る：スケジュールデータを変更しないようにします。
- 保存：スケジュールを保存します。

スライドショーの間隔

USB 自動再生の画像のスライドショー間隔時間を設定します。

OSD をオフにする

OSD メニューが画面上に表示される時間を設定します。オプションには、オフ、5 ~ 120 秒があります。

* オフのオプションには自動的に消えません。

インフォメーション OSD

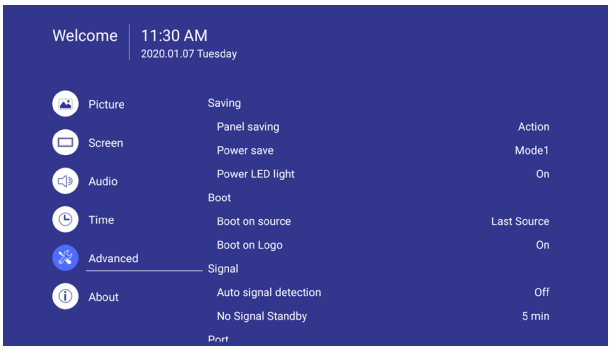
画面の左上隅にインフォメーションが表示される時間を設定します。このインフォメーションは、入力ソースが変更される時に表示されます。

インフォメーション OSD は、{ オフ } を選択しても画面に表示されます。オプションは 1 ～ 60 秒があります。

時刻のリセット

すべての時刻設定を工場出荷時設定にリセットします。

6.1.5. 詳細設定



パネル節約

パネル節約機能を有効にすると、焼付きまたはゴーストのリスクを軽減できます。

- { 節約 } - { オン }を選択すると、画像の明るさが適切なレベルに構成します。画像メニューの輝度設定は使用できなくなります。
- { バーンイン保護間隔 } - 表示の時間間隔を自動 / 10～900}秒 /オフの一つ選択して、「画像の焼付き」を減らします。

注意事項：CDE4320およびCDE5520の二機種のみバーンイン保護間隔機能をサポートします。

節電モード

モード 1 [TCP オフ、WOL オン]

モード 2 [TCP オフ、WOL オン、HDMI 入力オン]

モード 3 [TCP オン、WOL オフ]

各節電モードのインジケーターと操作

モード 1：
電源ボタンを押すと -> 電源オフ、LED：赤色。Wake-on-LAN に対応可能。

モード 2:
電源ボタンを押すと -> 電源オフ、LED：オレンジ色。Wake-on-LAN、HDMI 入力時起動に対応可能。

モード 3:
電源ボタンを押すと -> バックライトオフ、LED：オレンジ色。Wake-on-LAN に対応可能。

エコモード

本製品の消費電力を自動的に節約できるように設定します。

LED 電源インジケーター

電源インジケーター LED ランプのオンまたはオフを選択します。通常の使用にはオンを選択します。

起動時入力

起動時の入力ソースを選択します。
入力選択：選択可能な起動時入力ソース。

起動時ロゴ

ディスプレイをオンにするときに、ロゴ画像の表示を有効または無効にするのを選択します。

オプションには：

- { オフ }
- { オン } ※デフォルト設置
- { ユーザー }

1. ロゴをオンに設置した場合、ViewSonic のロゴおよび動画が表示されます。
2. ロゴをオフに設置した場合、ロゴや動画が一切表示されません。
3. サイネージディスプレイ設定で起動ロゴを設定していない場合、こちらにてユーザーを選択しても、起動時にロゴが表示されません。
4. サイネージディスプレイ設定で起動ロゴを設置した場合、こちらをにてユーザーを選択すると、起動時にロゴが表示されます。

自動検出

利用可能な信号源を自動的に検出して表示するようにします。

•{ オフ } - 信号が接続されると、手動のみ選択できます。

信号なしスタンバイ

信号がないときにスタンバイモードに入る時間を設定します。

HDMI 連動機能

CEC コントロール .

- { オフ } - CEC 機能を無効にする。
  ※デフォルト設置はオフです。
- { オン } - CEC 機能を有効にする。

USB 複製

OSD メニューの設定を USB メモリに複製します。

USB 自動再生

オンに設置すると、外付け USB メモリを本ディスプレイに接続する場合はディスプレイが自動的にメディアファイルを複製します、複製完了してから外付け USB メモリを外すと、メディアファイルが自動的に再生されます。

スイッチオン状態

次回電源コードを接続するときに使用するディスプレイ状態を選択します。

- { 電源オフ } - 電源コードをコンセントに接続すると、ディスプレイはオフのままになります。
- { 強制オン } - 電源コードをコンセントに接続すると、ディスプレイはオンになります。
- { 最後のステータス } - ディスプレイは前回電源オンの状態に戻ります。

WOL

Wake on LAN 機能のオンまたはオフを選択します。

二つのオプションがあります : { オフ } / { オン }

モニター ID

RS232C 接続を通じてディスプレイを制御するための ID 番号を設定します。複数のディスプレイセットが接続されている場合、各ディスプレイには独自の ID 番号が必要です。ID 番号の範囲は 1 ～ 98 です。99 はすべてのディスプレイに保留されています。

言語選択

OSD メニューで使用したい言語を選択します。

対応されている言語は次の通りです：

English/Deutsch/ 简体中文 /Français/Italiano/Español/ Русс кий /Polski/Türkçe/ 繁體中文 / 日本語

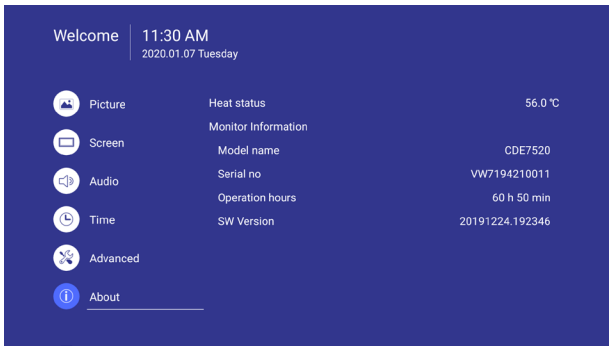
工場出荷時の設定にリセット

{ 画像 }、{ 画面 }、{ 音声 }、{ 時刻 }、{ 詳細 } のすべての OSD メニューにある設定を工場出荷時のデフォルト設定にリセットします。

詳細設定のリセット

すべての詳細設定を工場出荷時設定にリセットします。

6.1.6. 情報



内部温度

この機能は、本製品内部の温度を確認できるようにします。

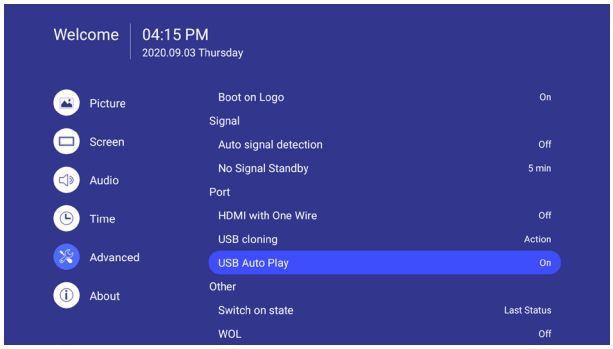
インフォメーション

型番、シリアル番号、動作時間、FW バージョンなど、本製品に関する情報を表示します。

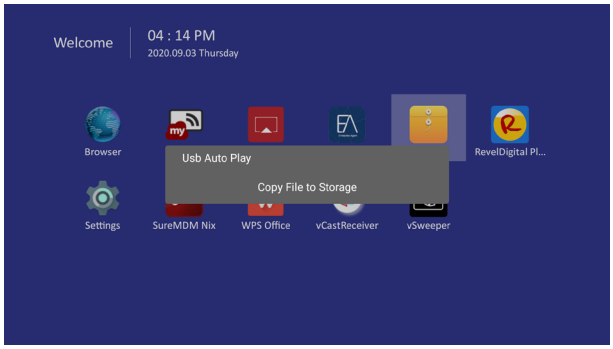
7. 内蔵アプリと設定

7.1. USB メディアの再生

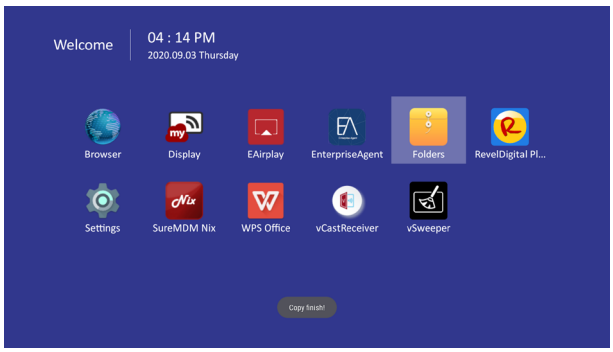
1. メディアコンテンツを USB メモリのルートディレクトリに複製します。USB メモリは FAT32 にフォーマットする必要があります。
2. OSD で USB 自動再生を有効にする



3. USB メモリを USB ポートに接続すると、本機が自動的にメディアコンテンツを内部ストレージに複製します。

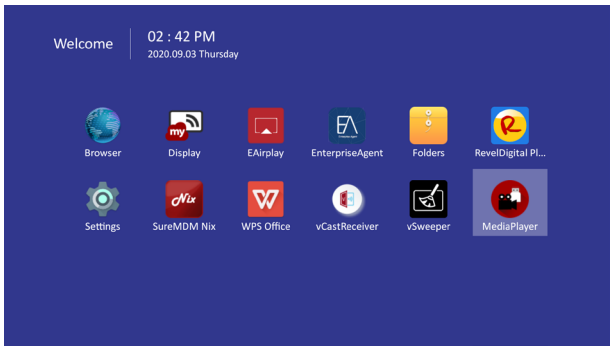


4. 複製が完了してから USB を外すと、コンテンツの再生が自動的に始まります。



5. { EXIT } ボタンを押すとメディア再生を停止でいます。ユーザーはランチャー画面のメディアプレーヤーのアイコン

をしてコンテンツの再生を再開できます。

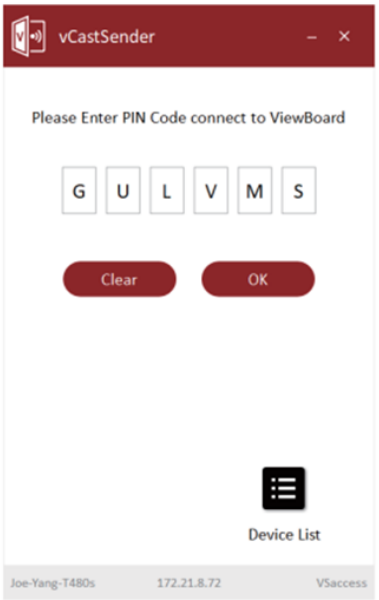


7.2. vCastReceiver & vCastSender アプリケーションサービス

ViewBoard®Cast ソフトウェアと連携する vCastReceiver アプリにより、ViewBoard® は vCastSender を通じてノート PC 画面（Windows / Mac / Chrome）およびモバイルデバイス（iOS / Android）の画面、写真、ビデオ、注釈、およびカメラを受信できるようになります。

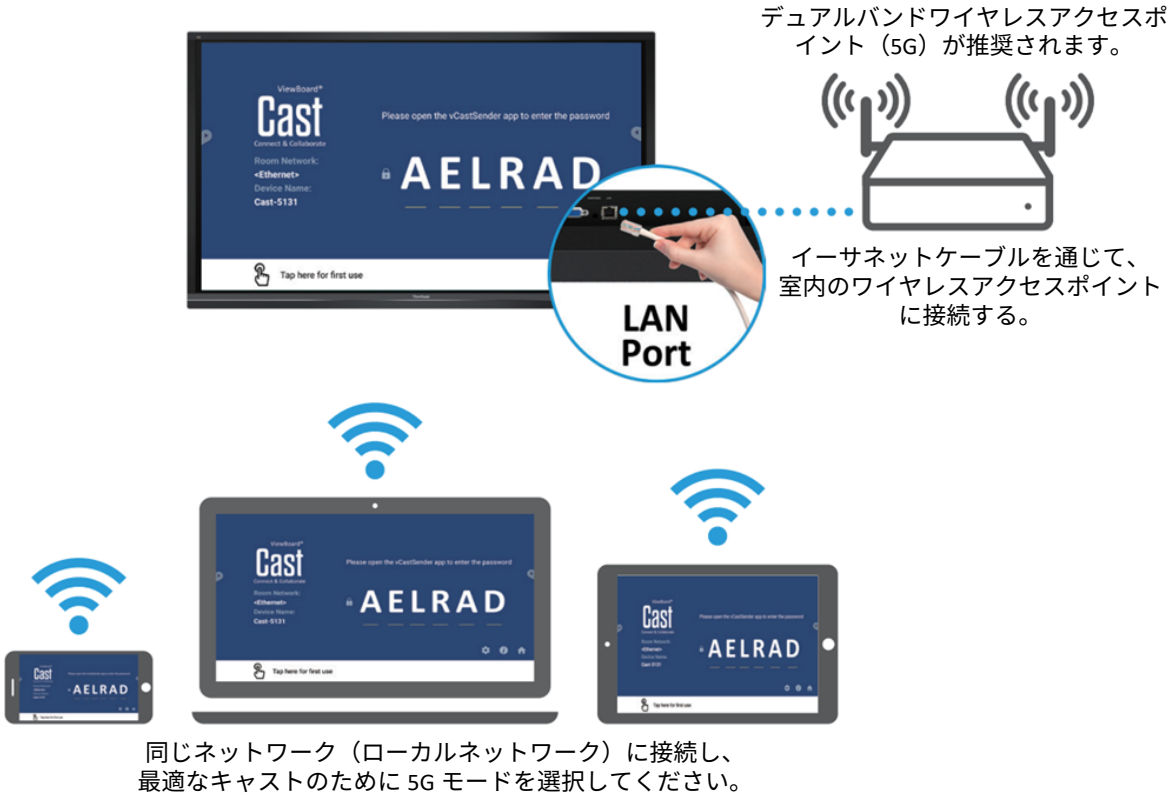
使い方

- ViewBoard®Cast ソフトウェア、ノートPC、およびモバイルデバイスは、同じサブネットとネットネットワークの両方に接続してください。
- 本機の画面上に表示されている PIN コードをお使いのデバイスの vCastReceiver アプリに入力して、本機に接続します。



- ポート：
  - TCP 56789, 25123, 8121 & 8000
  - UDP 48689, 25123
- アクティベーション用ポートとDNS：
  - ポート : 443
  - DNS: https://vcastactivate.viewsonic.com
- OTA サービス：
  - サーバポート : TCP443
  - サバー FQDN 名 : https://vcastupdate.viewsonic.com

vCastReceiver



同じネットワーク（ローカルネットワーク）に接続し、
最適なキャストのために 5G モードを選択してください。

7.3. Airplay サービス

ご使用する前に、ネットワーク / アクセスポイント / ワイヤレスコントローラーで DNS が有効になっていることを確認してください。

使い方

- ポート：
  - TCP 51040, 51030, 51020 & 51010
  - UDP 5353 (Airplay をブロードキャストする mDNS)
- Airplayがブロードキャストしていることを確認する方法：

1. iOS デバイスと本機が同じサブネットネットワークに接続されていることを確認してください。
2. iOS デバイスのコントロールセンターを開き、iOS デバイスで画面ミラーリングをタッチします。
3. 「Cast-xxxx」という番号が付いたデバイスが表示されます。
4. 「Cast-xxxx」が表示されている場合は、vCastReceiver が Airplay によりブロードキャストしています。
5. 「Cast-xxxx」デバイスをタップして、iOS デバイスの画面が本機にミラーリングします。

AirPlay

注意事項：

1. 同じネットワーク（ローカルネットワーク）に接続し、最適なキャストのために 5G モードを選択してください。
2. ViewBoard®Cast は、継続的な互換性のために常に最新バージョンの AirPlay を最新の状態に更新してください。

7.4. Chromecast サービス

ViewBoard®Cast ソフトウェアは、Chromecast 機能が有効になっている Chrome ブラウザのキャストに対応されています。
ネットワーク / アクセスポイント / ワイヤレスコントローラーで mDNS が有効になっていることを確認してください。

ネットワーク情報

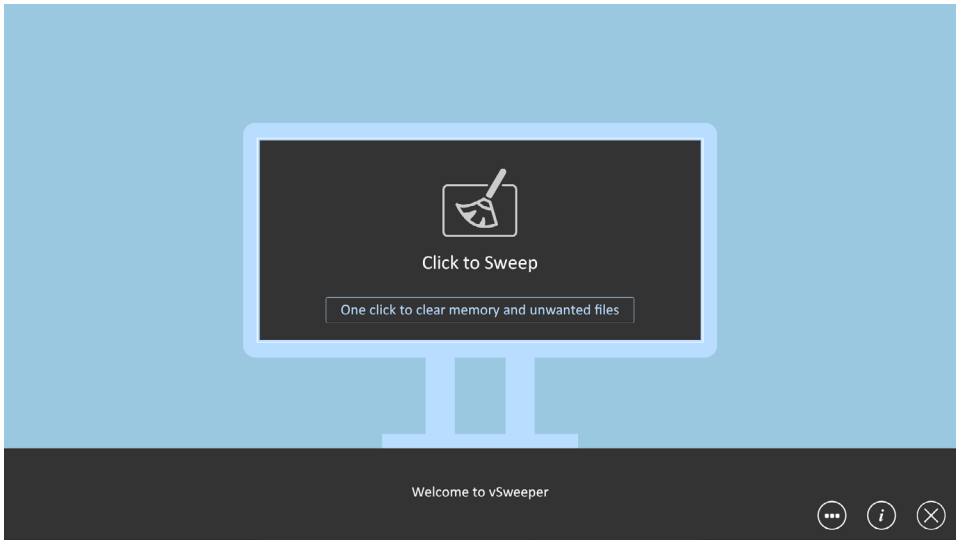
- ポート：
  - TCP 8008 & 8009
  - UDP 5353 (CCast をブロードキャストする mDNS)
- Chromecast がブロードキャストしていることを確認する方法：

1. Chromebook と本機が同じサブネットネットワークに接続されていることを確認してください。
2. Wi-Fi：802.11n5GHz の使用をお勧めします。
   注意事項： お住まいの国の非 DFS チャネルの表については、5GHz チャネルを参照してください。
   米国の場合、これらのチャネルは 36-48 および 149-165 です。
3. 帯域幅：通常の使用では、ユーザーあたり少なくとも 2 ～ 5Mbps が必要です。
   HD ビデオストリーミングのためにに 8.8.8.8 で Google のパブリック DNS サーバーに ping を実行する場合、レイテンシは 100 ミリ秒未満である必要があり、5Mbps 以上が必要です。
4. アクセスポイント：
   i. 30 台未満の小規模なデバイスの設置では、コンシューマーグレードのネットワーク機器で十分です。
   ii. 30 台以上のデバイスを設置する場合、または複数の部屋を含む場合は、ビジネス用の集中管理されたネットワーク機器をお勧めします。

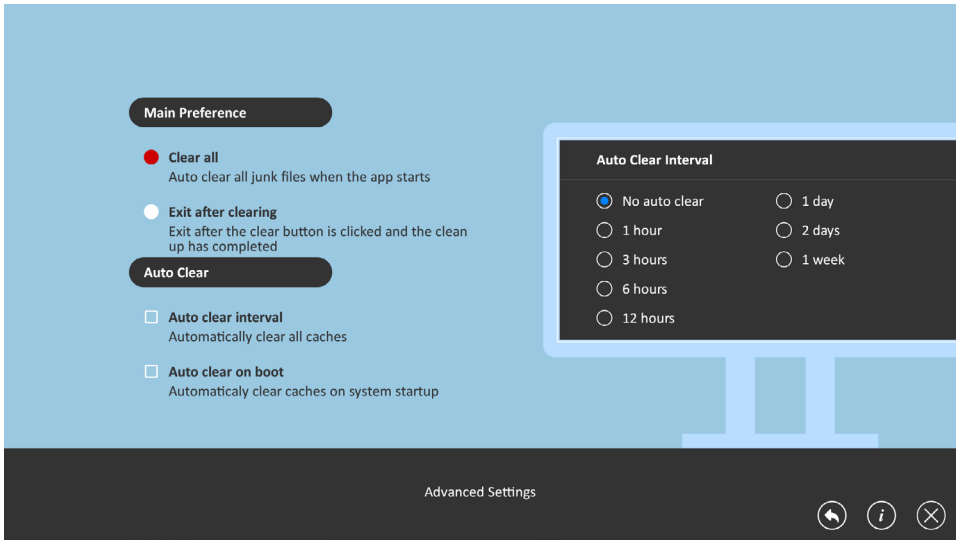
Chromecast

7.5. Sweeper

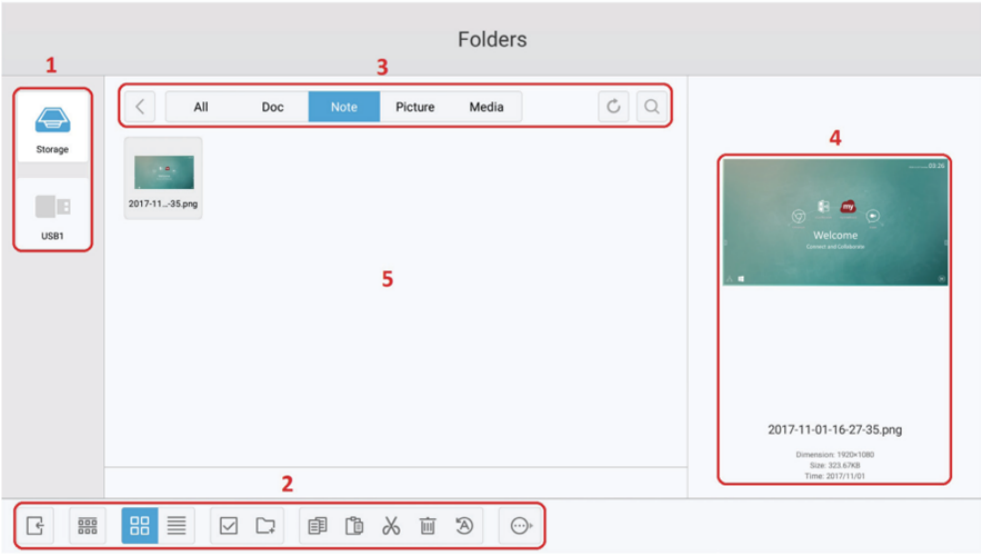
ランチャー画面の アイコンを選択して Sweeper アプリケーションを起動し、不要なデータやファイルを消去できます。



詳細設定は、ユーザーのニーズに合わせてカスタマイズすることもできます。



7.6. フォルダ



1. ストレージデバイスの一覧
   適切な目標ストレージデバイスを選択します。
2. アイコン

項目	詳細
終了	選択するとフォルダが終了になります。
ソート	選択してファイルをソートします。
サムネイル	選択してファイルをサムネイルモードで表示します。
リスト	選択してファイルをリストモードで表示します。
セレクト	選択してファイルをセレクトします。
フォルダ追加	選択するとフォルダが追加されます。
コピー	選択してファイルをコピーします。
ペスト	選択してファイルをペストします。
カット	選択してファイルをカットします。
削除 e	選択するとセレクトされているファイルを削除します。
名前を変更	選択してファイル名を変更します。
その他	クリクしてその他の機能を表示します。

3. ファイル形式メニュー

項目	詳細
すべて	すべての形式
Doc	OFFICE ファイル
ノート	vBoard Lite、サイドツールバー、およびリモートコントロールのスクリーンキャプチャボタンによって保存された画像。
画像	画像ファイル
メディア	オーディオとビデオファイル

4. ファイル情報

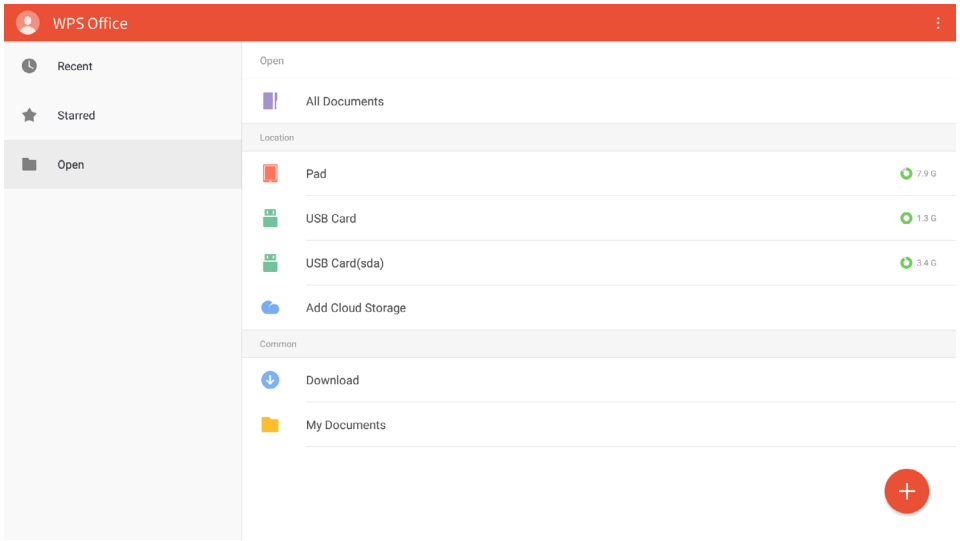
Preview the image, show the image's name, size, resolution, and creation date.

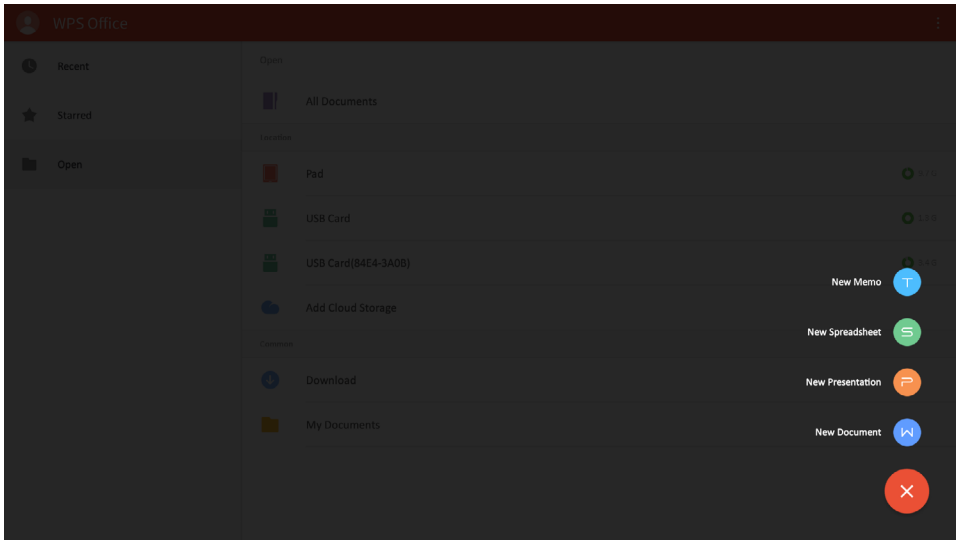
5. メインディスプレイエリア

対応形式のファイルを表示します。

7.7. WPS Office

ドキュメント、メモ、プレゼンテーション、スプレッドシートを作成、編集、表示します。





8. サポートされているメディアフォーマット

USB マルチメディアコードとフォーマット

タイプ	ファイル形式	コード	詳細
画像	BMP		最大解像度： 8000×8000 最小解像度： 4x4
	GIF		最大解像度： 8000×8000 最小解像度：4x4
	JPEG/JPG		最大解像度：8000×8000 最小解像度：4x4 ご注意：プログレッシブサポート 4000×4000 ベースラインサポート 8000x8000
	PNG		最大解像度：8000×8000 最小解像度：4x4
ビデオ	.3g2	H.263	最大解像度：1920*1088 30 オーディオ：GAAC,AMR_NB
	.3gp	H.264	最大解像度：3840*2160 30 オーディオ：GAAC,AMR_NB
		H.263	最大解像度：1920*1088 30 オーディオ：GAAC,AMR_NB
		Mpeg-4	最大解像度：1920*1088 30 オーディオ：GAAC,AMR_NB
	.avi	MPEG-1	最大解像度：1920*1088 30 オーディオ：Mpeg1/2 Layer3,GAAC,LPCM
		Mpeg-2	最大解像度：1920*1088 30 オーディオ：Mpeg1/2 Layer3,GAAC,LPCM
		Mpeg-4	最大解像度：1920*1088 30 オーディオ：Mpeg1/2 Layer3,GAAC,LPCM
		Mjpeg	最大解像度：1920*1080 30 オーディオ：Mpeg1/2 Layer3,GAAC,LPCM
	.flv	H.263	最大解像度：1920*1088 30 オーディオ：Mpeg1/2 Layer3,GAAC
		H.264	最大解像度：3840*2160 30 オーディオ：Mpeg1/2 Layer3,GAAC
	.f4v	H.264	最大解像度：3840*2160 30 オーディオ：GAAC
	.mkv	H.264	最大解像度：3840*2160 30 オーディオ：GAAC,Mpeg1/2 Layer3
		VP8	最大解像度：1920*1088 30 オーディオ：GAAC,Mpeg1/2 Layer3
		VP9	最大解像度：1920*1088 30 オーディオ：GAAC,Mpeg1/2 Layer3
		H.265	最大解像度：3840*2160 60 オーディオ：GAAC,Mpeg1/2 Layer3

ビデオ	.mov	H.264	最大解像度：3840*2160 30 オーディオ：GAAC,PCM
		H.265	最大解像度：3840*2160 60 オーディオ：GAAC,PCM
		MPEG-4	最大解像度：1920*1088 30 オーディオ：GAAC,PCM
		MJPEG	最大解像度：1920*1080 30 オーディオ：GAAC,PCM
	.mp4	H.264	最大解像度：3840*2160 30 オーディオ：GAAC
		H.265	最大解像度：3840*2160 60 オーディオ：GAAC
		MPEG-4	最大解像度：1920*1088 30 オーディオ：GAAC
	.vob	MPEG-2	最大解像度：1920*1088 30 オーディオ：PCM
	.mpg/ .mpeg	H.264	最大解像度：3840*2160 30 オーディオ：Mpeg1/2 Layer3,,GAAC
		MPEG-1	最大解像度：1920*1088 30 オーディオ：Mpeg1/2 Layer3,,GAAC
		MPEG-2	最大解像度：1920*1088 30 オーディオ：Mpeg1/2 Layer3,,GAAC
	.ts	H.264	最大解像度：3840*2160 30 オーディオ：GAAC,Mpeg1/2 Layer3
		H.265	最大解像度：3840*2160 60 オーディオ：GAAC,Mpeg1/2 Layer3
		MPEG-2	最大解像度：1920*1088 30 オーディオ：GAAC,Mpeg1/2 Layer3
		VC-1(AP)	最大解像度：1920*1088 30 オーディオ：GAAC,Mpeg1/2 Layer3
	.m4v	MPEG-4	最大解像度：1920*1088 30 オーディオ：GAAC
Audio	.aac	GAAC	サンプリング周波数：8K~96KHz ビットレート：24K~576Kbps
	.ape	Monkey's Audio	サンプリング周波数：Max 48KHz ビットレート：最大 1411Kbps
	.flac	FLAC	サンプリング周波数：Max 192KHz ビットレート：最大 1411Kbps
	.m4a	ALAC	サンプリング周波数：8K~96KHz ビットレート：24K~576Kbps
	.mp3	MPEG1/2 layer3	サンプリング周波数：8K~48KHz ビットレート：32K~320Kbps
	.ogg	Vorbis	サンプリング周波数：8K~48KHz ビットレート：最大 256Kbps
	.wav	LPCM	サンプリング周波数：8K~192KHz ビットレート：最大 320Kbps

注意事項：

- 上記の最大解像度には読み込み可能な最大解像度数値です、本機の最大表示可能解像度は 3840 x 2160 でございます。

9. 入力モード

グラフィック解像度：

標準解像度	アクティブ解像度		リフレッシュレート (垂直周波数/Hz)	水平周波数 (KHz)	ピクセルレート (MHz)	標準化団体
	水平	垂直				
VGA/DVI	640	480	59.941	31.469	25.175	VESA
			72.810	37.861	31.500	VESA
			75.000	37.500	31.500	VESA
	720	400	70.080	31.467	28.320	IBM
			85.038	37.927	35.500	VESA
	800	600	56.250	35.156	36.000	VESA
			60.317	37.879	40.000	VESA
			72.188	48.077	50.000	VESA
			75.000	46.875	49.500	VESA
	832	624	74.550	49.725	57.283	VESA
	1024	768	60.004	48.363	65.000	VESA
			70.069	56.476	75.000	VESA
			75.029	60.023	78.750	VESA
	1152	864	60.053	54.348	80.000	VESA
			70.016	63.995	94.201	VESA
			75.000	67.500	108.000	VESA
	1152	870	75.061	68.681	100.000	VESA
	1280	720	59.860	44.772	74.500	CVT
	1280	960	60.000	60.000	108.000	VESA
	1280	1024	60.002	63.981	108.000	VESA
			60.013	63.974	108.500	VESA
			75.024	79.976	134.999	VESA
	1360	768	84.880	68.688	125.250	CVT
	1440	900	59.887	55.935	106.500	VESA
			59.901	55.469	88.750	VESA
	1680	1050	59.954	65.290	146.250	VESA
	1600	1200	60.000	75.000	162.000	VESA
			70.000	87.500	189.000	VESA
			75.000	93.750	202.500	VESA
	1920	1080	60.000	67.500	148.500	VESA
	1920	1200	59.950	74.038	154.000	VESA

DVI	3840	2160	23.976	53.946	296.703	VESA
			24.000	54.000	297.000	VESA
			25.000	56.250	297.000	VESA
			29.970	67.430	296.703	VESA
			30.000	297.000	67.500	VESA

HD 解像度：

標準解像度	ビデオ	アクティブ解像度		リフレッシュレート (垂直周波数/Hz)	水平周波数 (KHz)	ピクセルレート (MHz)	標準化団体
		水平	垂直				
HDMI/DP	480i	720	480	59.939	15.734	13.500	EIA-861D
				60.000	15.750	13.513	EIA-861D
		1440	480	59.939	15.734	27.000	EIA-861D
		1440	480	60.000	15.750	27.027	EIA-861D
	576i	720	576	50.000	15.625	13.500	EIA-861D
		1440	576	50.000	15.625	27.000	EIA-861D
	480p	720	480	59.941	31.469	27.000	EIA-861D
		720	480	60.000	31.500	27.027	EIA-861D
	576p	720	576	50.000	31.250	27.000	EIA-861D
		1440	576	50.000	31.250	54.000	EIA-861D
	720p	1280	720	59.940	44.955	74.176	EIA-861D
		1280	720	60.000	45.000	74.250	EIA-861D
	1080i	1920	1080	50.000	28.125	74.250	EIA-861D
		1920	1080	59.940	33.716	74.175	EIA-861D
		1920	1080	60.000	33.750	74.250	EIA-861D
	1080p	1920	1080	23.976	26.973	74.175	EIA-861D
		1920	1080	24.000	27.000	74.250	EIA-861D
		1920	1080	25.000	28.125	74.250	EIA-861D
		1920	1080	29.970	33.716	74.176	EIA-861D
		1920	1080	30.000	33.750	74.250	EIA-861D
		1920	1080	50.000	56.250	148.500	EIA-861D
		1920	1080	59.940	67.432	148.350	EIA-861D
		1920	1080	60.000	67.500	148.500	EIA-861D

HDMI/DP	4K	3840	2160	23.976	53.946	296.703	
		3840	2160	24.000	54.000	297.000	
		3840	2160	25.000	56.250	297.000	
		3840	2160	29.970	67.430	296.703	
		3840	2160	30.000	67.500	297.000	
		3840	2160	50.000	112.500	594.000	
		3840	2160	60.000	135.000	594.000	

注意事項：

- PC のテキスト品質は、HD 1080モード（1920 x 1080、60Hz）で最適です。
- PC の表示画面は、製造元（および特定バージョンのWindows）によって異なる場合があります。
- PC をディスプレイに接続する方法については、PCの取扱説明書を確認してください。
- 垂直および水平周波数選択モードが存在する場合は、60Hz（垂直）および 31.5KHz（水平）を選択します。パソコンの電源を切ったとき（またはパソコンの接続を切ったとき）に、画面に異常な信号（縞模様など）が表示される場合があります。その場合は、[INPUT]ボタンを押してビデオモードに入ります。また、PC が接続されていることを確認してください。
- RGB モードで水平同期信号が不規則に見える場合は、PCのエコモードまたはケーブル接続を確認してください。
- ディスプレイ設定は、IBM / VESA 標準に準拠し、アナログ入力に基づいています。
- DVI サポートモードは、PC サポートモードと同じと見なされます。
- 各モードの垂直周波数の最適なタイミングは 60Hz です。

10. クリーニングとトラブルシューティング

10.1. クリーニング

ディスプレイを使用する時に

- 手、顔、物をディスプレイの放熱用通気孔に近づけないでください。ディスプレイの上部は、通常通気孔から放出される排気には非常に高温になっています。身体の一部を近づけすぎると、火傷や怪我をする可能性があります。ディスプレイの上部近くに物を置くと、ディスプレイ本体だけでなく、その物にも熱に関連する損傷が発生する可能性があります。
- ディスプレイを移動する前に、必ずすべてのケーブルを外してください。ケーブルを取り付けたままディスプレイを動かすと、ケーブルが損傷し、火災や感電の原因となることがあります。
- あらゆる種類のクリーニングまたはメンテナンス手順を実行する前に、安全上の予防措置として、電源プラグをコンセントから抜いてください。

正面パネルのクリーニング手順

- ディスプレイの前面は特別に処理されましたので、クリーニングクロスまたは柔らかく、糸くずの出ない不織布のみを使用して、表面をやさしく拭いてください。
- 表面が汚れた場合は、柔らかく、糸くずの出ない不織布を中性洗剤溶液など、ノンアンモニア、ノンアルコールの洗剤に浸してください。布を絞って余分な液体を取り除いてから、ディスプレイの表面を拭いて汚れを取り除きます。次に、同じ種類の乾いた布を使用して乾かします。
- パネルの表面を指や硬いもので引っかいたり、叩いたりしないでください。
- インサートスプレー、溶剤、シンナーなどの揮発性物質は使用しないでください。

筐体のクリーニング手順

- 筐体が汚れた場合は、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- 筐体がひどく汚れている場合は、中性洗剤溶液に糸くずの出ない布を浸してください。布を絞って水分をできるだけ取り除いてから、キャビネットを拭きます。次に、別の乾いた布を使用して、表面が乾くまで拭きます。
- 水や洗剤をディスプレイの表面に接触させないでください。筐体内に水や湿気が入ると、操作上の問題、電気的および衝撃の危険が生じる可能性があります。
- 筐体を指や硬いもので引っかいたり、叩いたりしないでください。
- インサートスプレー、溶剤、シンナーなどの揮発性物質をキャビネットに使用しないでください。
- ゴムや PVC 製のものを筐体の近くに長時間置かないでください。

10.2. トラブルシューティング

問題	可能な原因	解決策
電源インジケーターが点灯しない	1. ディスプレイの電源が入っていない。	1. 電源コードが接続されているか確認し、ディスプレイの電源を入れてください。
電源インジケーターは点灯していますが、画像が表示されません	1. ビデオケーブルが外れている、または正しく接続されていない。 2. ビデオ信号入力がない。	1. ビデオケーブルを接続または交換し、正しく接続されていることを確認します。 2. 信号元を確認し、出力端で正しく接続されているかどうかを確認します。
画像のちらつきや波紋	1. ビデオ信号を妨害する電気機器が存在する可能性があります。	1. 電気機器の電源を切るか、本ディスプレイを移動します。
薄暗いまたは非常に明るい画面	1. 低輝度または高輝度 / コントラスト設定を使っています。	2. 明るさ / コントラストの設定を確認するか、デフォルト設定に戻します。
色差	1. 彩度が不適切。 2. RGB 値または色温度が設置が不適切。	1. 彩度を確認してください。 2. RGB 値を調整するか、色温度をリセットします。 3. 工場出荷時デフォルト設定にリセットします。
画像が歪み	1. アスペクト比が不適切。	1. アスペクト比をリセットします。
音声が出力されません	1. オーディオケーブルが外れているか、正しく接続されていません。 2. ミュートを使っています。	1. 入力ポートが適切に接続されていることを確認してください。 2. 音声設定をリセットします。

11. 仕様

11.1. CDE6520

ディスプレイ：

項目	仕様
スクリンサイズ	165 cm / 65 インチ
アスペクト比	16:9
解像度	3840 (H) x 2160 (V)
ピクセルピッチ	0.372 (H) x 0.372 (V) [mm]
最大表示色	10bit, 約 10.7 億色
輝度	450 cd/m²
コントラスト比	1200:1
視野角	178°

入出力端子：

項目		仕様
スピーカー出力	内蔵スピーカー	16W (L) + 16W (R) [RMS]/8 Ω 単方向 1 スピーカーシステム 82 dB/W/M/160 Hz ~ 13 KHz
音声出力	3.5mm ジャック x 1	0.5V [rms] (ノーマル) / 2 チャンネル (L+R)
音声入力	3.5mm ジャック x 1	0.5V [rms] (ノーマル) / 2 チャンネル (L+R)
RS232C	D-Sub x 1 (9 pin)	TXD + RXD (1:1)
RJ-45	RJ-45 Lan x 1 (8 pin)	10/100 LAN ポート
HDMI 入力	HDMI 2.0 ポート x 2 (Type A) (19 pin)	デジタル RGB: TMDS (ビデオ + オーディオ) 最大 : Video - 720p, 1080p, 1920 x 1080/60 Hz (WUXGA) オーディオ : - 48 KHz/ 2 Channel (L+R) LPCM のみに対応されます
DisplayPort 入力	DisplayPort 1.2 ポート x 2 (20 pin)	デジタル RGB: TMDS (ビデオ + オーディオ) 最大 : Video - 720p, 1080p, 1920 x 1080/60 Hz (WUXGA) オーディオ - 48 KHz/ 2 Channel (L+R) LPCM のみに対応されます
VGA 入力	D-Sub x 1 (15 pin)	アナログ RGB: 0.7V [p-p] (75 Ω), H/CS/V:TTL (2.2k Ω), SOG: 1V [p-p] (75 Ω) 最大 : 720p, 1080p, 1920 x 1080/60 Hz (WUXGA)
USB 入力	USB2.0 x 2 (Type A) USB3.0 x 1 (Type A)	USB2.0/3.0, マルチメディア再生とサービス用ポート

一般 :

項目	仕様
電源入力	100 - 240V~, 50/60Hz, 3.5A
消費電力 (最大)	300 W
消費電力 (標準)	220 W
消費電力 (待機)	<0.5 W (RS232 制御有効)
寸法 (スタンドなし) [W x H x D]	1450.6 x 828.1 x 78.5 mm
梱包寸法 (スタンドなし) [W x H x D]	1605 x 965 x 220 mm
重量 (スタンドなし)	22.95 Kg
梱包重量 (スタンドなし)	33.6 Kg

環境条件：

項目		仕様
温度	動作	0 ~ 40° C
	保存	-10 ~ 60° C
湿度	動作	20 ~ 80% RH (結露なきこと)
	保存	10 ~ 80% RH (結露なきこと)
高度	動作	0 ~ 3,000 m
	保存	0 ~ 3,658 m

内蔵スピーカー：

項目	仕様
タイプ	単方向 1 スピーカーシステム
入力	16 W (RMS)
インピーダンス	8 Ω
出力音圧	82 dB/W/M
応答周波数	160 Hz ~ 13 KHz

11.2. CDE7520

ディスプレイ：

項目	仕様
スクリンサイズ	191 cm / 75 インチ
アスペクト比	16:9
解像度	3840 (H) x 2160 (V)
ピクセルピッチ	0.4296(H) × 0.4296 (W) [mm]
最大表示色	10bit, 約 10.7 億色
輝度	450 cd/m²
コントラスト比	1200:1
視野角	178 degrees

入出力端子：

項目		仕様
スピーカー出力	内蔵スピーカー	16W (L) + 16W (R) [RMS]/8 Ω 単方向 1 スピーカーシステム 82 dB/W/M/160 Hz ~ 13 KHz
音声出力	3.5mm ジャック x 1	0.5V [rms] (ノーマル) / 2 チャンネル (L+R)
音声入力	3.5mm ジャック x 1	0.5V [rms] (ノーマル) / 2 チャンネル (L+R)
RS232C	D-Sub x 1 (9 pin)	TXD + RXD (1:1)
RJ-45	RJ-45 Lan x 1 (8 pin)	10/100 LAN ポート
HDMI 入力	HDMI 2.0 ポート x 2 (Type A) (19 pin)	デジタル RGB: TMDS (ビデオ + オーディオ) 最大 : Video: 720p, 1080p, 4K @ 60Hz オーディオ：48 KHz / 2 チャンネル (L+R) LPCM のみにサポート
DisplayPort 入力	DisplayPort 1.2 ポート x 2 (20 pin)	デジタル RGB: TMDS (ビデオ + オーディオ) 最大 : Video - 720p, 1080p, 1920 x 1080/60 Hz (WUXGA) オーディオ - 48 KHz/ 2 チャンネル (L+R) LPCM のみにサポート
VGA 入力	D-Sub x 1 (15 pin)	アナログ RGB: 0.7V [p-p] (75 Ω), H/CS/V:TTL (2.2k Ω), SOG: 1V [p-p] (75 Ω) 最大 : 720p, 1080p, 1920 x 1080/60 Hz (WUXGA)
USB 入力	USB2.0 x 2 (Type A) USB3.0 x 1 (Type A)	USB2.0/3.0, マルチメディア再生とサービス用ポート

一般：

項目	仕様
電源入力	100 - 240V~, 50/60Hz, 3.5A
消費電力 (最大)	300 W
消費電力 (標準)	240 W
消費電力 (待機)	<0.5 W (RS232 制御有効)
寸法 (スタンドなし) [W x H x D]	1672.0 x 955.0 x 70.0mm
梱包寸法 (スタンドなし) [W x H x D]	1828 x 1098 x 220 mm
重量 (スタンドなし)	29.3 Kg
梱包重量 (スタンドなし)	41.7 Kg

環境条件：

項目		仕様
温度	動作	0 ~ 40° C
	保存	-10 ~ 60° C
湿度	動作	20 ~ 80% RH (結露なきこと)
	保存	10 ~ 80% RH (結露なきこと)
高度	動作	0 ~ 3,000 m
	保存	0 ~ 3,658 m

内蔵スピーカー：

項目	仕様
タイプ	単方向 1 スピーカー
入力	16 W (RMS)
インピーダンス	8 Ω
出力音圧	82 dB/W/M
応答周波数	160 Hz ~ 13 KHz

12. RS232 プロトコル

12.1. RS-232 について

本章では、ViewSonic 商用ディスプレイと PC または RS-232 プロトコルを使用するその他の制御ユニットとの間の RS-232 インターフェイス通信のハードウェアインターフェイス仕様とソフトウェアプロトコルについて説明します。
プロトコルには 3 つのコマンドセクションがあります：

- Set- 関数
- Get- 関数
- リモコンパススルーモード

* 下記では、RS232 プロトコルコマンドを送受信できるすべての制御装置を表します。

12.2. 詳細

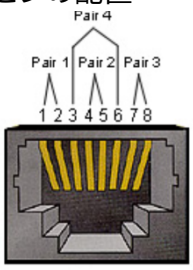
12.2.1. RS232 ハードウェア仕様

商用ディスプレイの底面に設置されている通信ポート：
RS232 コネクター :
(1) コネクタのタイプ： DSUB 9 ピンオス型
(2) ピンの配置

メス型 DSUB 9 ピン
(外観)

ピン番号	信号	備考
1	NC	
2	RXD	ディスプレイへの入力
3	TXD	ディスプレイからの出力
4	NC	
5	GND	
6	NC	
7	NC	
8	NC	
9	NC	
frame	GND	

LAN - RJ45 ポート：
1. コネクタのタイプ:8P8C RJ45
2. ピンの配置



ピン番号	信号	備考
1	TX+	ディスプレイからの出力
2	TX-	ディスプレイからの出力
3	RX+	ディスプレイへの入力
4	BI_D3+	1G ケースの場合
5	BI_D3-	1G ケースの場合
6	RX-	ディスプレイへの入力
7	BI_D4+	1G ケースの場合
8	BI_D4-	1G ケースの場合
frame	GND	

12.2.2. 通信設定

RS232：
- ボーレート選択： 9600bps (固定)
- データビット： 8 ビット (固定)
- パリティ： なし (固定)
- ストップビット： 1 (固定)

LAN:
- タイプ：イーサネット
- プロトコル：TCP/IP
- ポート：5000 (固定)
- クロスサブネット：いいえ
- ログイン資格情報：いいえ

12.2.3. コマンドメッセージリファレンス

PC から、LED コマンドパケットに続いて「CR」が送信されます。PC からディスプレイに制御コマンドが送信される度に、ディスプレイは毎回以下のように応答します：

1. メッセージを正しく受信した場合、「+」（02Bh）に続けて「CR」（00Dh）と送信します。
2. メッセージを誤って受信した場合、「-」（02Dh）に続けて「CR」（00Dh）と送信します。

12.3. プロトコル

12.3.1. Set - 関数リスト

PC からディスプレイの特定の動作を制御できます。Set - 関数コマンドを使用すると、RS-232 ポートを通じて遠隔でディスプレイの動作を制御できます。 Set - 関数パケットフォーマットは 9 バイトです。

Set - 関数の説明：

長さ： 「CR」を除くメッセージの総バイト数

CD ID 各ディスプレイの ID（01 ～ 98、デフォルトは 01）。
ID「99」は、接続されているすべてのディスプレイに set コマンドを適用することを意味します。 このような状況では、ID#1 ディスプレイのみが応答する必要があります。
CD ID は、各ディスプレイの OSD メニューから設定できます。

コマンドタイプ コマンドタイプの説明
“s” (0x73h) : コマンドを設定する
“+” (0x2Bh) : 有効なコマンド応答
“-“ (0x2Dh) : 無効なコマンド応答

コマンド： 関数コマンドコード： 1 バイトの ASCII コード。

値 [1~3]: 値を定義する 3 バイトの ASCII。

CR 0x0D

Set - 関数形式

送信：(コマンドタイプ＝「s」)

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	コマンド	値 1	値 2	値 3	CR
バイト数	1 Byte	2 Byte	1 Byte	1 Byte	1 Byte	1 Byte	1 Byte	1 Byte
バイト順	1	2~3	4	5	6	7	8	9

応答：（コマンドタイプ =「+」または「-」）

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	CR
バイト数	1 Byte	2 Byte	1 Byte	1 Byte
バイト順	1	2~3	4	5

例：ディスプレイ (#02) の輝度を 76 に設定する場合、このコマンドは有効です

送信（16 進形式）

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	コマンド	値 1	値 2	値 3	CR
Hex	0x38	0x30 0x32	0x73	0x24	0x30	0x37	0x36	0x0D

応答（16 進形式）

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	CR
Hex	0x34	0x30 0x32	0x2B	0x0D

例：ディスプレイ (#02) の輝度を 75 に設定する場合、このコマンドは有効ではありません。

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	コマンド	値 1	値 2	値 3	CR
Hex	0x38	0x30 0x32	0x73	0x24	0x31	0x37	0x36	0x0D

応答（16 進形式）

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	CR
Hex	0x34	0x30 0x32	0x2D	0x0D

Set 関数表：
基本機能

Set 関数	長さ	ID	コマンド	コマンド		値の範囲	コメント
			タイプ (ASCII)	コード (ASCII)	コード (Hex)	(3つの ASCII バイト)	
電源オン[*3.2.1]/ オフ（待機）	8		s	!	21	000: STBY 001: オン	1. LAN制御による電源投入は、特定のモード下でのみ機能する場合があります。 詳細については、ディスプレイUGを参照してください。[*3.1.1] 2. 代わりに、「WOL by MAC アドレス」を利用できる場合があります。[*3.2.1]
入力選択	8		s	“	22	000: TV 001: AV 002: S-Video 003: YPbPr 004: HDMI1 014: HDMI2 024: HDMI3 034: HDMI4 005: DVI 006: VGA1 016: VGA2 026: VGA3 007: スロットインPC (OPS/SDM)/HDBT 008: 内蔵メモリ 009: DP 00A: 組み込み/メイン (Android)	1. USBは不要。 2. 同じソースが2つある場合は、2番目の数字が拡張子を表わすために使用されます 3. 00Aの16進は30 30 41です。

輝度	8		s	$	24	000 ~ 100 900:明るさを下げる (-1) 901:明るさを上げる (+1)*3.1.1	
バックライト *3.2.0	8		A	B	42	000 ~ 100	1. メインモードがバックライトによって制御され、他のソースが明るさによって制御されるAndroidプラットフォームの場合。 2. 色校正から抽出されます。*3.2.0
電源ロック	8		s	4	34	000: ロック解除 001: ロック	• 詳細には注意事項をご参照ください。
音量	8		s	5	35	000 ~ 100 900: 音量を下げる(-1) 901:音量を上げる(+1)	
ミュート	8		s	6	36	000: オフ 001: オン (ミュート)	
ボタンロック	8		s	8	38	000: ロック解除 001: ロック	• 詳細には注意事項をご参照ください。
メニュー ロック	8		s	>	3E	000: ロック解除 001: ロック	• 詳細には注意事項をご参照ください。
数字 *3.1.1	8		s	@	40	000~009	
キーパッド *3.1.1	8		s	A	41	000: 上 001: 下 002: 左 003: 右 004: 入力 005: インプット 006: メニュー/(終了) 007: 終了	
リモコン	8		s	B	42	000: 無効 001: 有効 002: パススルー	1. オフ：RCUは機能しません 2. オン：RCUが正常に制御します 3. パススルー：ディスプレイはRCコードを迂回して、接続された機器へとRS-232ポートを通して進みますが、ディスプレイ自体は反応しません。
デフォルトにリセット	8		s	~	7E	000	工場出荷時設定にリセット

オプション機能

Set 関数	長さ	ID	コマンド	コマンド		値の範囲	コメント
			タイプ (ASCII)	コード (ASCII)	コード (Hex)	(3つの ASCII バイト)	
コントラスト	8		s	#	23	000 ~ 100	
シャープネス	8		s	%	25	000 ~ 100	
カラー	8		s	&	26	000 ~ 100	
色合い	8		s	‘	27	000 ~ 100	
バックライトオン/オフ*3.2.3	8		s	(	28	000: オフ 001: オン	
カラーモード	8		s	)	29	000: ノーマル 001: 暖色 002: 寒色 003:カスタマイズ	
サラウンドサウンド	8		s	-	2D	000: オフ 001: オン	
低音	8		s	.	2E	000 ~ 100	
高音	8		s	/	2F	000 ~ 100	
バランス	8		s	0	30	000 ~ 100	050 は中央値
画像サイズ	8		s	1	31	000: フル (16:9) 001: 4:3 002: リアル (1:1) *3.1.0	
OSD 言語	8		s	2	32	000: 英語 001: フランス語 002: スペイン語	モデルごとに、よりサポートされている言語に拡張できます。
日付：年	8		s	V	56	Y17~Y99	末尾 2 桁 (20)17~(20)99
日付：月	8		s	V	56	M01~M12	2 桁
日付：日	8		s	V	56	D01~D31	2 桁
時刻：時	8		s	W	57	H00~H23	24時制、 2 桁
時刻：分	8		s	W	57	M00~M59	2 桁
時刻：秒	8		s	W	57	S00~S59	2 桁

12.3.2. Get - 関数リスト

PC から商用ディスプレイに特定の情報を問い合わせることができます。Get- 関数パケット形式は 9 バイトで構成されており、Set- 関数パケットの構造と似ています。「値」バイトは常に = 000 です。

Gt - 関数の説明：

長さ： 「CR」を除くメッセージの総バイト数。

商用ディスプレイ ID 各ディスプレイの ID（01~98、デフォルトは 01）。

コマンドタイプ コマンドタイプの説明
「g」（0x67h）：コマンドを取得する
「r」（0x72h）：有効なコマンド応答
「-」（0x2Dh）：無効なコマンド応答

コマンド： 関数コマンドコード：1 バイトの ASCII コード。

値 [1~3]: 値を定義する 3 バイトの ASCII。

CR 0x0D

Get- 関数形式

送信：（コマンドタイプ =「g」）

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	コマンド	値 1	値 2	値 3	CR
バイト数	1 Byte	2 Byte	1 Byte	1 Byte	1 Byte	1 Byte	1 Byte	1 Byte
バイト順	1	2~3	4	5	6	7	8	9

応答：（コマンドタイプ =「r」または「-」）

コマンドが有効な場合はコマンドタイプ = 「r」

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	コマンド	値 1	値 2	値 3	CR
バイト数	1 Byte	2 Byte	1 Byte	1 Byte	1 Byte	1 Byte	1 Byte	1 Byte
バイト順	1	2~3	4	5	6	7	8	9

コマンドが有効でない場合はコマンドタイプ =「-」

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	CR
バイト数	1 Byte	2 Byte	1 Byte	1 Byte
バイト順	1	2~3	4	5

例：TV-05 の輝度を取得する場合。このコマンドは有効です。 輝度の値は 67 です。

送信（16 進形式）

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	コマンド	値 1	値 2	値 3	CR
Hex	0x38	0x30 0x35	0x67	0x62	0x30	0x30	0x30	0x0D

応答（16 進形式）

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	コマンド	値 1	値 2	値 3	CR
Hex	0x38	0x30 0x35	0x72	0x62	0x30	0x36	0x37	0x0D

例：ディスプレイ（#05）からカラーを取得します。しかし、カラーコマンドは、このモデルによってサポートされていません。

送信（16 進形式）

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	コマンド	値 1	値 2	値 3	CR
Hex	0x38	0x30 0x35	0x67	0XD3	0x30	0x30	0x30	0x0D

応答（16 進形式）

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	CR
Hex	0x34	0x30 0x35	0x2D	0x0D

Get 関数表：
基本機能

Set 関数	長さ	ID	コマンド	コマンド		値の範囲	コメント
			タイプ (ASCII)	コード (ASCII)	コード (Hex)	(3つの ASCII バイト)	
Get-Bright-ness	8		g	b	62	000 ~ 100	
Get-Back-light[*3.2.0]	8		a	B	42	000 ~ 100	1. メインモードがバックライトによって制御され、他のソースが明るさによって制御されるAndroidプラットフォームの場合。 2. 色校正から抽出されます。[*3.2.0]
Get-Volume	8		g	f	66	000 ~ 100	
Get-Mute	8		g	g	67	000: オフ 001: オン(ミュート)	
Get-Input select	8		g	j	6A	000~ 100~	1. 信号検出用の1番目のビット： 0は「信号なし」を表します。1は「信号が検出された」ことを表します。 2. 2番目および3番目のビット： Set-関数表を確認します。
Get-Power status: ON/ STBY	8		g	l	6C	001: オン 000: STBY	
Get-Remote control	S		g	n	6E	000: オフ 001: オン 002: パススルー	RCUモードのステータスを取得します。
Get-Power lock	8		g	o	6F	000: ロック解除 001: ロック	
Get-Button lock	8		g	p	70	000: ロック解除 001: ロック	
Get-Menu lock	8		g	q	71	000: ロック解除 001: ロック	
Get-ACK	8		g	z	7A	000	このコマンドは通信リンクのテストに使用します。
Get-Thermal	8		g	0	30	000~100: 0~+100 deg C -01~-99: -1~-99 deg C	
Get-Operation hour[*3.2.0]	8		g	1	31	000	1. 6桁の整数（000,001～999,999）の累積時間[*3.2.0] 2. FW更新および工場出荷時初期化時にリセットできません[*3.2.2] 3. 新しい32バイト形式で応答します[*3.2.0]

Get-Device name	8		g	4	34	000	新しい32バイト形式で応答します*3.2.0
Get-MAC address	8		g	5	35	000	（LAN対応モデルの場合）新しい32バイト形式で応答します*3.2.0
Get-IP address *3.2.0	8		g	6	36	000	（LAN対応モデルの場合）新しい32バイト形式で応答します*3.2.0
Get-Serial number *3.2.0	8		g	7	37	000	新しい32バイト形式で応答します*3.2.0
Get-FW version *3.2.0	8		g	8	38	000	新しい32バイト形式で応答します*3.2.0

オプション機能

Set 関数	長さ	ID	コマンド	コマンド		値の範囲	コメント
			タイプ (ASCII)	コード (ASCII)	コード (Hex)	(3つの ASCII バイト)	
Get-Contrast	8		g	a	61	000 ~ 100	
Get-Sharpness	8		g	c	63	000 ~ 100	
Get-Color	8		g	d	64	000 ~ 100	
Get-Tint	8		g	e	65	000 ~ 100	
Get-Backlight On_Off*3.2.3	8		g	h	68	000: オフ 001: オン	
Get-Date: 年	8		g	2	32	Y00~Y00	末尾 2 桁 (20)17~(20)99
Get-Date: 月	8		g	2	32	M00~M00	2 桁
Get-Date: 日	8		g	2	32	D00~M00	2 桁
Get-Time: 時	8		g	3	33	H00~H00	24時制、 2 桁
Get-Time: 分	8		g	3	33	M00~M00	2 桁
Get-Time: 秒	8		g	3	33	S00~S00	2 桁

12.3.3. リモコンパススルーモード

PC がディスプレイをリモコンパススルーモードに設定した場合、ディスプレイはリモコンユニット（RCU）ボタンの起動に応答し、7 バイトのパケット（後に「CR」が続く）を送信します。 このモードでは、リモコンはディスプレイ機能に影響を与えません。 例：「Volume +」はディスプレイの音量を変更せず、代わりに、RS-232 ポートを通して PC に「Volume +」コードを送信するのみとなります。

IR パススルー機能形式

応答：（コマンドタイプ＝「p」）

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	RCU コード 1 (MSB)	RCU コード 2 (LSB)	CR
バイト数	1 Byte	2 Byte	1 Byte	1 Byte	1 Byte	1 Byte
バイト順	1	2~3	4	5	6	7

例：ディスプレイ（#5）に「VOL+」キーが押された場合のリモコンパススルー送信（16 進形式）

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	コマンド	値 1	CR
Hex	0x36	0x30 0x35	0x70	0x31	0x30	0x0D

ボタン	コード (16 進)
1	01
2	02
3	03
4	04
5	05
6	06
7	07
8	08
9	09
0	0A
-	0B
リセット (前回)	0C
情報 (ディスプレイ)	0D
	0E
アスペクト比 (ズーム、サイズ)	0F
音量を上がる (+)	10
音量を下げる (-)	11
ミュート	12
チャンネル / ページアップ (+)/ 輝度アップ	13
チャンネル / ページダウン (-)/ 輝度ダウン	14
電源	15
ソース (入力)	16
	17
	18
スリープ	19
メニュー	1A
上	1B
下	1C
左 (-)	1D
右 (+)	1E
OK (入力、設定)	1F
終了	20
	21
	22
	23
	24
	25
	26
	27
	28
	29
	2A
	2B
赤 ■ (F1)	2C
緑 ■ (F2)	2D
イエロー ■ (F3)	2E
青 ■ (F4)	2F

注意事項：

1. この IR パススルーコードは RCU キーコードとは異なります。
2. IR パススルーモード時の、電源キー用の特殊な制御シーケンス。
   - 2-1. ディスプレイがオフになっている時に、IR 電源コードを受信した場合：ディスプレイの電源が自動的に入り、その後 RS232 を通じて電源コードをホストに転送します。
   - 2-2. ディスプレイがオンになっている時に、IR 電源コードを受信した場合：ディスプレイは RS232 を通して電源コードをホストに転送し、その後自動的にオフになります。
   - 2-3. SET-POWER LOCK がオンになっている場合、ディスプレイは電源キーを押す動作に反応しません。
3. ボタンを長押しすると、音量アップと音量ダウンのコードが繰り返し出力されます。

13.　カスタマーサポート

技術サポート、または製品サービスについては、下記ウェブサイトをご覧ください。

http://www.viewsonic.com/jp/support

製品サポート、修理、その他お問い合わせについては、下記ウェブサイトからお送りください。

https://www.viewsonic.com/jp/contact/

注意事項：製品のシリアル番号が必要です。

ViewSonic®